



Title	「人民文学」所載小説・散文・報告一覧表
Author(s)	相浦, 杲; 中国文学研究ゼミナール
Citation	大阪外国語大学学報. 1961, 9, p. 93-145
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80181
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「人民文学」所載 小説・散文・報告一覽表

相 浦 杲 編
中国文学研究ゼミナール

人民文学作品一覽表

做為中華全国文学工作者協會的機關刊物，《人民文学》創刊於1949年10月25日。從這時起，一直到現在，經過了十多年的歷史，它繼續也將要發揮推動社会主义現實主義文学的巨大作用，我們不妨認為它是一個對於現代中国文学最有代表性的月刊文学雜誌。当然，配合着社会主义建設的大發展，除《人民文学》以外，現在已經還有幾種值得研究的重要文学刊物。但是我們仍然還可以通過它，窺見現代中国文学的主要傾向以及它的特性。從1950年至1954年之間，在《人民文学》上所刊載過的小説・散文・特写等作品（除劇本和詩），我把它們一一讀過，然後排列在一起，編成現在所能看到的這樣“作品一覽表”，發表在「現代中国学会月報」（1955年7月）上，以便研究者參考。這回，現代中国文学研究小組的幾位同学，把我的工作接過來，從1949年至1958年間的作品，也要一一讀過，按着我所做過的方式，繼續做成一覽表，來一個大躍進。我当然願意幫幫他們的忙。現在我把這兩個部分，合在一起，發表在我們大学的學報上了。

現代中国の文学がどのようなものであり、またどのような方向に向かっているかという問題をあきらかにするために、さまざまな方法で相当な努力がはらわれてきているが、その成果はかならずしもまだ充分だということとはできない。雑誌「人民文学」は中華人民共和國の成立と同時に発刊され、それから現在まで、約10年間にわたって、この国の文学界で最高の指導的な地位を占める、全国性をもった文芸雑誌として、その機能をはたしてきた。この雑誌のこのような性格から、ここに登載された作品の発展の軌跡を求めることは、とりもなおさず、この時期における中国文学の発展のあとづけとほぼひとしくなるであろうと考えられる。このような理由から、雑誌「人民文学」に対する観察・研究は、現代中国文学の基本的な性格や方向を理解するために、全

く十分ではないにしても、必要不可欠の条件だと考えられる。“全く十分ではないにしても”といったのは、雑誌「人民文学」を中心としつつその周辺に数多くの文学雑誌が刊行されており、また大型の作品が単行本として発刊されているので、それらをも考慮の中に入れるのであれば考察は全面的とはいえないからである。しかし前述したように、雑誌「人民文学」の基本的な性格が、全中国の文学に対してほぼ代表的な位置にあるかぎり、それに対する観察をなおざりにすることはできない。また中国文学の発展を一つの流れとして把握するために、こうした作業が継続的なされなければならないことはいうまでもない。私はまえに「現代中国文学における社会主義リアリズム——「人民文学」発展の様相——」（現代中国学会編：「新中国と過渡期の総路線」1955.10.20所収）を書いてその発展の様相の一面を明らかにし、またその基礎作業として「“人民文学” 所載：小説・散文・報告一覧表」（「現代中国学会月報」1955.7）を作成した。この表は全体のみとおしをたてるのに研究者にとって比較的便利であったが、1954年度分までしか完成していなかった。こんどゼミナールの学生諸君によって1955～1958年度分が完成されたので、両者をあわせて全部を発表することとした。なお、この表の提要の部分はスペースの都合できわめて簡単にしか説明されていないが、それぞれの作品のより詳細な分析は別なカードになされており、作品番号に対応して、それらのカードが用意されていることを附加しておかなければならない。

この一覧表を発表するにあたって、終始適切な指導と助言をいただいた金子二郎教授に対して深甚の謝意を表する。（1959.9，相浦）

このリストは雑誌「人民文学」に掲載された小説・散文・報告の各ジャンルの作品を対象とした。従って、詩、映画、演劇の脚本、論文等はこの中に含まれていない。又、この雑誌の目次に（小説）（散文）などと各作品のジャンルを明記しているものは、このリストにおいても、それを明記しておいた。しかし53年4月号あたりから、ジャンルの区別をはっきりたてなくなり、作品自身もそのようなジャンルの区別にこだわらなくなってきたので、これ以後の作品については、ジャンルを明記しないことにした。このリストは1950年から1954年末までにわたっており、全部で309篇である。

「題材」の欄に短く書いてある文章は、その作品に大体どんなことが書いてあるかを知るための便宜上のもので、もとより一篇の作品の内容を適確にとらえているということとはできない。

「備考」の欄には、それぞれの作品に関係のある批評の文章などを参考のために挙げておいた。1950年から54年6月までのこの雑誌掲載の作品が、どのように発展してきたかについては、や

がて出版される現代中国学会編輯の、昨年度の学会報告に、その中の一篇（「現代中国文学における社会主義リアリズム」——「人民文学」発展の様相）として載せられるはずであるから、それを参照していただければ幸いである。

なお、このリスト作成にあたっては芦田茂幸氏の助力を得たことを附記しておかなければならない。

また1949年度分「人民文学」創刊号および2号は鳥居久靖氏をわずらわして天理大学図書館から借用・閲読することができた。記して謝意を表する。

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
1	(1949年10月) 火 光 在 前	小	劉白羽	解放軍の歴史的な長江渡河作戦を一つの師団の行動を通して人間的な矛盾とともに描いた中篇小説・全11章のうちの前半5章	創刊号は1949年10月25日に発刊
2	買 牛 記	小	康 濯	1頭の牛を買うことをめぐっての農村隣組内での矛盾とその発展	
3	村 仇	小	馬 烽	趙莊と田村の2部落の人たちが水利をめぐって地主のそそのかしで骨肉血で洗う争いをするが、やがて農民が団結し、地主と斗争する中で和解する。	
4	憶魯迅先生	散	巴 金	北京図書館の一室でみた魯迅の遺影・遺品から魯迅の偉大さをしのんだ小篇。	第2号は1949年12月1日発刊
5	魯迅還在活着	散	胡 風	魯迅とその文学についての感想文。	
6	(1949年12月) 一個換了腦筋的兵	小	文乃山	強制的に国民党の兵士にされ自棄になった農民兵士が解放軍の捕虜となり、立派にたちなおる過程をえがく。	
7	堅 定 的 人	小	周元青	解放軍からの逃亡兵が英雄劉胡蘭の壮烈な最期と破壊された自分の家庭をその目でみてたちなおる、英雄的な人物になる話。	
8	鷄	小	盧耀武	負傷した路科長が旅団長から養生用におくられた鷄を自分はたべないで世話になった農家に与える。後に彼がその家にたちよるとかっての鷄が卵を生むようになっていた。	
9	火 光 在 前	小	劉白羽	前号よりの続篇で、後半の6章より11章まで。	人民文学1950.2陳涌劉白羽「近年の小説」

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
10	美国的一位大王 (1950.1)	小	ゴーリキー 荒燕訳	ミリオネアーとの対話を通して描かれた寓話的風刺小説。	
11	関 連 長	小	朱 定	国内戦争。模範的な関中隊長の死。	文芸報第四卷第五期 「評・関連長」
12	我們夫婦之間		蕭也牧	インテリ出身の夫と貧農出身の妻との思想葛藤。	人民日報「蕭也牧創作的一些傾向」
13	軍隊生活的回顧	報	樊曉歌	部隊に参加した学生の体験とその転変。	
14	改 造	小	秦兆陽	不労地主王有徳の転変。	人民文学1950年6月 「關於改造」
15	任 務 (1950.2)	小	立 高	国内戦争。功をたてるまでの中隊の種々の斗争。	
16	周 鉄 漢	小	徐光耀	「平原烈火」の一部分。抗日戦争中の八路軍の後退期から前進期にかけての描写。	人民文学1950年2月 「一部描写冀中抗日擊游隊的新作」
17	懶 蛋 牌 子	小	周立波	農村における少年団のなまけもの退治。	
18	一 件 親 事	農 村 紀 事	楓 林	農村の恋愛。	
19	老 股	小	希 堅	雨ごいにからまる農村の迷信と支部書記の進歩。	
20	革 命 夫 妻	小	杜 烽	兵士とその妻の誤解。	
21	向蘇聯文化工作者學習	散	蕭 三	ソ連文化工作代表団訪中国に随行しての記。	
22	塔娜莎娃的安娜卡列尼娜	散	丁 玲	タナシャワの演劇アンナカレニーナの紹介。	
23	由三藩市致天津 (1950.3)	散	老 舍	サンフランシスコから天津に向った老舍の帰国記。	
24	家		西 虹	農民意識の強い一兵士の思想改造の物語。	
25	讓生活變得更美好吧	小	方 紀	土地改革後における、まだ残っている封建意識と主人公のそれに対する抵抗。	人民文学1950.5「關於‘讓生活變得更美好吧’」 人民文学1950.6「我的檢討」
26	秋 干	小	孫 犁	階級成分をきめる学習をめぐっての女の姿。	
27	小 柱 子	小	王 南	農村における工作員と小柱子たち子供たちとの親愛の物語。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
28	牛	小	田 人	土地解放前後における馬耀光の牛に対する意識変革。	人民文学1950.9「談我所到的三篇工人創作」 人民文学1950.9「談我所到的三篇工人創作」
29	北 黒 線	報	楊 朔	北満における鉄道敷設工事の困難な過程と労働者の献身的な作業。	
	(1950.4)				
30	春 節	小	陳肇祥	八年ぶりに正月休暇で軍隊から帰ってきた王中隊長と家族の対面。	
31	怎么到的今天	小	俞 林	解放されるまでの周老漢一家の苦難。	
32	我的老婆	小	蓮迺相	妻の転変。	
33	于师伝這二年	小	大 呂	熟練工于師伝の意識変革。	
	(1950.5)				
34	試 煉	小	葉 淘	熟練工老趙の意識変革。	
35	李長順機班	報	碧 野	機関車を動かす三人の男の輸送勤務中の寸描。	
36	小 八 路	小	許欣之	日本軍占領時代から解放時代にかけての子供を中心としたレジスタンス。	
37	玉 小 二	小	沉 澱	貧農王小二の転変。	
	(1950.6)				
38	尹 青 春	小	寒 風	解放軍兵士尹青春の困難な戦いでの中の成長入党。	
39	營部——碉堡之夜	小	陸柱国	淮海戦役の一断面。「決斗」の(一)。	
40	老 王 頭	小	葉 于	旋盤工老王頭の旧い意識の変革。	
41	杜 廠 長	小	李爾重	労働者の創造性とそれによる資本家の思想改造	
42	長工和地主		康 濯	第一話：作男たちのストライキ。第二話：作男たちの奇智による抵抗。第三話：作男と地主の根気くらべ。(民間故事三篇)	
43	傳 麦 種		董均倫	麦の由来、密蜂等五篇(民間伝説)	
44	保 壘	小	王文兵	抗日戦期の地下にもぐった医療隊とそれをとりまく村人の協力。	
45	血 衣	報	孫峻菁	解放前の一農村の苦難。	
46	貧農会長趙満園	小	文乃山	趙満園の食糧守護。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
47	光 榮 匾	小	郭一峯	夫を戦場に送った一人の主婦の銃後に於ける戦い。	文芸報三卷七期「評永遠向着前面」
48	十万発子弾	小	尼 尼	抗日戦下に於ける弾薬工場の労働者の戦い。	
49	李 莊 戦 (1950.8)	報	陸柱国	「決斗」の(二)	
50	永遠向着前面	小	立 高	国内戦争期における一連隊の戦斗の最中に於ける幹部の人間関係と思想斗争。	
51	海 戦	小	王振業	舟山群島攻略の前哨線。	人民文学1951.1「関于‘哨兵’」
52	竜河岸上的英雄	小	栢 洲	人民のために竜河岸で戦いつづけた少女周宝珠の物語。	
53	八 百 公 尺	報	陸柱国	「決斗」の(三)	
54	範工長的謎	小	丁克辛	熟練工範の意識変革。	
55	百 煉 成 鋼	小	王礼易	製鉄工場における計画性の確立。	
56	莫 斯 科	散	馮 至	モスクワの印象記。	
57	哨 兵	散	易 剛	寸事もなおざりにせぬ厳格な、そしてまた人間味のある歩哨に出会い感動した話。	
58	学文化的故事	散	田 波	組織的な学文化大運動の中で急速に識字に成功した話。	
59	和 平 簽 名	散	史 康	平和署名運動の一断片。	
60	新 的 光 輝	小	王真光	吸上ポンプ故障に対する労働者の努力と熱情。	
61	新問題・旧做法	小	草 明	「火車頭」の1章、の新聞記者蔡槐情の工場訪問のくだり。	
62	早	小	祝向群	解放直後、早ばつに乗じての反動分子の攪乱と農民の戦い。	
63	海 上 英 雄	小	戴 天	演習に出かけた解放軍海上部隊と海南島の敵艦との遭遇戦。	
64	鋼 鉄 陣 地 (1950.10)	報	陸柱国	「決斗」の(四)	
65	訪 問 朝 鮮		郭沫若	朝鮮訪問記。	
66	在解放后的漢城		馬 烽	漢城の人たちの戦いの姿。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
67	烏蘭諾娃的青銅騎士		丁 玲	ウラノワのバレエについての紹介と随想。	
68	向克里姆林紅星致敬		劉白羽	作者のクレムリン印象記。	
69	這樣的戰士		李 林	人民英雄何大賈にたいする哀悼文。	
70	結 合	小	芝明之	労働者と技術師の感情的葛藤及びその結合。	人民文学1951年5月「 關於‘好娘兒’」
71	好 娘 兒	小	夷 夫	浙江のゲリラ部隊の物語。	
72	最後一次物価波動		李爾重	資本家劉厚斎が投機から生産に転換したみちすじ。	
73	小 毛 病	小	希 堅	労働模範になった王紀の小さな毛病とその克服。	
	(1950.11)				
74	小春和陈頭	小	遼 斐	工場生産，技術者と労働者の結合。	
75	彎 路	小	輕 影	工場の官僚主義的工作員の自己批判。	
76	団 結 前 進	小	蘇 汎	資本家趙広林の転変一労資協調。	
77	海上旗子	小	西 虹	海南島攻略戦。	
	(1950.12)				
78	一個真實人的一 生		丁 玲	夫胡也頻の回想。	
79	不 能 入 庫		孫景瑞	土地改革後の民兵の意義。	
80	春子姑娘		楊 朔	虐待されつづけた嫁春子の封建意識からの解放と革命隊列への参加。	
81	草 原 上		楊 平	山火事の消火に死んだ教師劉昶生と小兒隊員卓日巴図の話。	人民文学1951「読 ‘草原上’」
	(1951.1)				
82	对国家負責	小	汝 沢	少年兵士小王の国家に対する没我的献身。	
83	姜老三入党	小	李南力	貧農姜老三の対地主斗争を通してのめざめ。	
84	一 心 向 党	小	渠 川	水上訓練隊の一兵士の海南島漂着と信念完遂。	
85	托爾斯泰的故鄉	散	周立波	トルストイの故郷ヤスラヤポリカラ訪問記。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
86	憶胡也頻在濟南 (1951.2)	散	魯 風	胡也頻回想記。	
87	朝 鮮 人	散	魏 巍	中国で共に解放戦争に参加した朝鮮人老金の思い出。	
88	力量的最大源泉	散	王西彦	社会の移りかわりと農民の力。	
89	母親的意志	小	蕭也牧	一労働者の進歩と母親の愛情。	
90	愛	小	李 納	新しい社会を知り息子の志願軍参加を願いでた父親とその愛情。	
91	烽火山上的故事	小	孫峻青	負傷兵の不屈の斗志とそれをたすける農民。	人民文学1951年7月 「評火山上的故事」
92	烟 的 故 事	小	左佑民	煙草好きな文化教員が煙草をやめた話。	
93	送 信 報	報	柯 崗	通信員が敵陣を突破して連絡任務を果たした話。	
	(1951.3)				
94	渡 荒	小	白 危	二流子の労働への参加。	
95	新 犁	小	劉芸亭	機械化に対する農民のよろこび。	
96	友 誼	小	江 稜	国内戦、朝鮮戦争を通じての両国人の友誼。	
97	血戰天門頂 (1951.4)	小	白 刃	「戰鬥到明天」の16章～19章。	
98	出 城 記	小	秦兆陽 劉秉彦	「万里長征第一步」の一段。	
99	老高頭的心思	小	石不琢	息子の志願軍参加に対する老人の意識変革。	
100	在後方的戦争	小	周 壁	農村工作員の自己批判。	
101	在日寇細菌試驗場裡	報	弓 人	日本軍細菌試験からの脱出記。	
102	在鴨緑江畔	報	金肇野	朝鮮戦争中の鴨緑江畔における住民の戦い。	
	(1951.5)				
103	老工人郭福山	小	丁克辛	抗米援朝運動。	
104	老 大 哥	小	董迺相	熟練工の志願軍参加。	
105	正 月 新 春	小	康 濯	冬期生産工作にいそしみ農村の一日のスケッチ。	
106	棉 花	小	燕 飛	農民の生産合作社に対する信頼。	
	(1951.6)				

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
107	黄 河 壩 上	小	任大心	黄河治水工事における経験主義官僚主義の克服。	人民文学1952.1「關於重新發給我槍吧」
108	葡萄樹長葉的時候	小	劉芸亨	日本の再軍備に激しいにくしみを抱くブドウ作りの老人。	
109	長 白 山 中 (1951.7)	小	克 秋	長白山中での子供の抗日戦参加。	
110	工廠里的戰鬥	小	何 苦	工場における特務の地下工作との戦い	
111	重新發給我槍吧	小	立 高	国共停戦により平和の幻想を抱いて帰郷しようとした老戦闘英雄の死。	
112	幸 福	小	劉為真	抗日戦における苦闘と解放後のよろこび。	
113	搶 險	小	郭一峯	爆撃下の黄河修堤工事。	
114	蓋 新 房 (1951.8)	小	希 堅	農村における特務との闘い。	
115	勇敢的兄弟	報	劉白羽	朝鮮人民軍と中国志願軍の戦闘裡の国際友誼。	
116	不死的戰士	小	立 高	解放軍の一兵士小武の不屈の戦い。	
117	老 船 長 (1951.9)	小	高 源	国家資材の節約をきびしく実行する老船長。	人民文学1952.2「読「老船長」」
118	沙家店戦闘	小	柳 青	「銅牆鉄壁」の一部。	
119	不 屈 的 人	小	杜 冰	舟山群島攻略における一兵士の不屈の戦い。	
120	在「五人四」高地上 (1951.10)	報	韶 華	「五人四」高地における不屈の防戦。	
121	拉猛回来了	報	彝族 李 喬	彝族の新政権歓迎。	
122	海防戰的夜	報	夷 天	敵の破壊工作に対する人民の団結。	
123	海 上 記 事	報	中国人民軍 兵士宋友蘭	海軍と陸軍の遭遇。	
124	叫大夥都知道吧	報	俞 林	都郡互助。	
125	旅 途 瑣 記	報	竹可羽	車中で見かけた募金運動の一断面	
126	力 量	報	谷 峪	抗美援朝工作を指導する英雄九魁じいさんの寸描。	
127	朝鮮的孫子	報	黄葉眠	米李匪幫の朝鮮の子供たちに加えた数々の残虐行為。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
128	前進的道路	小	畢 麟	技術と労働の結合。	
129	除 害 (1951.12)	小	胡 正	農村の反革命分子逮捕。	
130	蟾江水波	小	晴 霓	架線兵の不屈の戦い。	
131	從長工变成功 臣		文 瀨 湘 漪	僱農出身の解放軍兵士の手柄話。	
132	損 献	小	朱 敬	献金。	
133	廠長楊行効 (1952.1)	小	雷 加	工場長楊行効の新しい人間像。	
134	科爾沁草原的 人們	小	瑪拉沁夫	蒙古の人民たちの、自らの生活を守る ための特務との英雄的行為。	人民文学1952.3,4 「從‘’,談起」
135	喜 事	小	柳 溪	鉄道従業員の機関車に対する愛情と女 子機関士の結婚。	
136	人十一号車	小	柯 崗	困難な輸送任務の完遂。	
137	互 助 友 愛	小	金 雲	紡績工場内に新しくできた保健員のは たらき。	
138	拒 馬 河		独 木	拒馬河の治水工事を提案した農民たち	
139	母親和家鄉 (1952.2)		赤 布	解放軍兵士と西藏の老婆との友愛	
140	紅花朵朵開	小	左介貽	停滞状態にあった製煉工場での労働者 の経験を生かした新しい創意の芽生え と技術者の自己批判。	人民文学1952.5「関 於紅花朵朵開」
141	這是大夥的力 量	小	徐錦珊 陸亦青		
142	口 罩	小	朱 敬		
143	汽車工人趙炳 貴 (1952.3,4)	小	魏志謙		人民文学1952.3,4 「反对抄襲別人的作 品」
144	張發良和他的 老师	小	林 立	三反五反運動。いんとく物資の摘発と 子弟・親子関係の矛盾及びその解決。	
145	高 經 理	小	鄭文森	三反五反運動。資本家の暴利摘発のた めの工作。	
146	「三反」隨筆 三章	雜	藏克家	「温暖」の水。「一身而二任焉」。自由 与不自由。	
147	記卡達耶夫	散	康 濯	ソビエト作家チャターエフ訪問記。	
148	參觀蔡特金集 体農莊 (1952.5)	散	馬 加	チャトキンコルホーズ訪問記。	
149	馬鞍山上的暴 風雨		林 間	死を以って列車を危険から助けた鉄道 労働者。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
150	潜 力	小	高 榆	増産節約運動中の工場労働者の科学精神と大衆の力に対する自信。	
151	借 鐘	小	趙鴻鈞	朝鮮戦線における一文教員の不屈の斗い。	
152	篡 奪	小	高節操 (申新紗廠)	三反五反。資本家の摘発。	
153	検 査 公 約		浩 蕩 (電 線廠工人)	愛国公約運動と工人の科学精神。	
154	一 隻 箱 子		揚 江	増産節約運動中における時間の節約をめぐる努力。	
	(1952. 6)				
155	竹 哨		白 華	少数民族と解放軍の共同の斗いと友愛。	
156	小人子和紅領 灣		榴 紅	郷土を死を以って特務の手から守った少年。	
157	他們和我們		張天翼	学生の演戯上演をめぐっての利己主義の克服。	
158	少年团员林玉 鐘		晴 霓	朝鮮戦線における少年团员ラッパ手林の勇敢な行為。	
159	平 壤	散	巴 金	平壤を去るにあたってこの都市によせた手記。	
	(1952. 7)				
160	小 紅 星	中篇	郭新日	解放戦争中の江西ソビエト地区の農村断面。地主の圧迫、紅軍ゲリラの組織、反動軍との斗い。	
161	女英雄黄秀英		唐鉄海	瑞金時代から革命に参加した女同志の英雄的経歴。	
162	羅 才 打 虎		李南力	封建地主に敢然と反抗する羅才おじさん。	
163	長征回憶断片		楊文林	万里の長征以来革命に参加した作者の自伝的回憶の一段。	
164	八 莊 苗 地		故学文	苗族の解放とその中で育った労働模範。	
165	土 地		王貞尊	農村の土地改革。	
166	当祖国需要的 時候		(儀器製造 廠) 殷志楊	労働者の転任をめぐっておこる問題。	
167	安 電 話		高 驥	土地改革後の電話設置にからまる農村断面。	
168	種棉英雄曾広 福		曾広福(談) 田 農(筆)	悪い自然条件と斗って綿花の生産をたかめた英雄曾広福の話。	
	(1952. 8)				
169	女護士陳敏	小	徐 剛	朝鮮戦線における看護婦陳敏の单身不屈の救護活動。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
170	朝鮮戦地の春夜	散報	巴 金	祖国の建設を希求しながら朝鮮戦線に服務する志願兵士たちの幸福。	
171	朝鮮前線的一天	散報	吳 明	志願軍少年兵小朱を中心とした朝鮮戦線の一曰ルポ。	
172	防 滑 鏈 子		楊天喜	爆撃下に於ける火薬輸送。	
173	消滅空中強盗 (1952.9)	報	大 群	朝鮮戦線における高射砲隊のルポ。	
174	新 路	小	林 霜	互助組の集体互助組への形成過程。	
175	意 志	小	(志願軍空軍) 琳 德	朝鮮戦線における一空軍兵士の不屈の斗い。	
176	卡札納河上的橋	小	柯 嵐	解放軍の一部隊の困難な架橋工作の完遂。	
177	平凡的故事	報	萌 菲	朝鮮戦線で不屈に斗った胡同志の経歴。	
178	長河的小学 (1952.10)	小	張 紫	農村で学校設置に力をつくした老農民の物語。	
179	生活在英雄們的中間	散	巴 金	作者が朝鮮戦線の数々の英雄的人間像に接したよろこびと自己へのはげまし。	
180	阿 嬋	小	碧 野	封建思想にひしがれた一人の女のめざめと活躍。	
181	山 前 山 後	小	李威崙	二つの部落の葛藤と土地改革。	
182	擺 渡 口	小	劉紹棠	渡場にすむ青年と新しい人間像。	
183	一 個 願 望	報	遂 斐	朝鮮戦線のあらゆる分野で共同の願望の上に立って活躍している朝鮮の婦女たちの素描。	
184	三千里江山 (1952.11)	長篇	楊 朔	中国労働者の抗米援朝斗争への参加と両国の友誼 (10~12月)	
185	憶巴甫連柯	散	周立波	1950年モスクワでパフレンコに出会ったときの回想記。	
186	在蘇联文学芸術的園林裏	散	孫 犁	作者自身のソビエト文学接受経歴	
187	紅場上的召喚	散	馬 加	十月革命三四周年記念日の赤い広場における式典の回想。	
188	青年戰士趙傑人同志	散	巴 金	爆撃のため洞穴に埋められ救出された趙傑同志の寸描。	
189	中央訪問団来到蒙古草原上	散	烏蘭巴干	中央訪問団の来訪に接した蒙古の草原上に新らしく生きる人々のよろこび。	
190	工 廠 散 記	散	活 蕩		

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
191	水 車 (1952.12)	小	嚴 肅	水車をめぐる互助組の結成，生産競争。	
192	蘋 果	小	巴 力	朝鮮戦線における若い兵士の勇敢な行為と朝鮮の老婆の話。	
193	勝利迫趕着時間	小	立 高	朝鮮戦線における対戦車攻撃をめぐる兵士の勇敢な行為。	
194	懷念着漢口南岸 (1953.1)		(志願軍) 蕭守人	朝鮮戦線における志願軍兵士と朝鮮人老婆の友愛。	
195	突破三八線		海 默	『突破臨津江』の最後の数節。	
196	互助的故事		吳晨笛	落後農民の互助組への参加。	
197	英 雄 的 詩 (1953.2)		遂 斐	列車機関士・老鞠の英雄的な働き。	
198	石 土 地	小	石 果	地主の策動におさえつけられていた農民と地主との斗いとその変遷過程。	
199	我從上甘嶺来	散	苗 子	慰問団の一員として上甘嶺に赴き，そこでみた志願軍兵士たちの数々の英雄的事蹟のルポ。	
200	投遞員羅光		袁 白	河の防水のために犠牲的に戦った郵便配達夫の物語。	
201	杏花盛開的時節 (1953.3)		昌 言	猛火を冒して特務をつかまえた娘金英子の模範的行為。	
202	山間鈴響馬幫来	小	白 樺	解放後の西南少数民族の生活を描いたもの。	
203	喜 期		石 果	解放前後における地主の子と農民の子の数奇な運命。	
204	在前進指揮所裡 (1953.4)	散	葛 洛	司令部を中心にみてみた朝鮮戦線における一戦闘。	
205	小 試 鋒 芒	散	黄黒柳	朝鮮戦線におけるある陣地攻略戦のさいの各兵士の働き。	
206	淮河辺上的兒女	長	陳登科	解放戦争中の敵後方における党の指導（4月～6月）	文芸報52年2号評「淮河辺上的兒女」
207	競 賽		康 躍	農業生産合作社推進のために食事も忘れてかけずりまわる万連の物語。	
208	親 人		苗 子	志願軍兵士の親人に対する生活感情。	
209	劉 敬 礼		徐光耀	少年の身で抗日戦に活躍し，長じて朝	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
210	辛 文 立		徐光耀	鮮戦線に称賛すべき働きを示した戦争英雄劉敬礼の回顧。 朝鮮戦に従軍した二十一才の一等功臣辛文立の功臣代表大会における英雄的な戦歴報告をまとめたもの。	文芸報54年6号談「農村散記」
211	大 青 驃 子		劉紹棠	農村合作社の財産としての驃馬への愛情と、それをめぐる農民の意識変革。	
212	婆 媳 們 (1953.5)		魏錫林		
213	農 村 散 記		秦兆陽	○祭竈…迷信からの脱却、偶然聴到的故事…恋愛から結婚へ。劉老濟…農村合作社。	
214	王 媽 媽		駱賓基	托児所主任王媽媽の新しい人間像と互助組。	
215	愛 (1953.6)		顧立高	朝鮮戦線における劉班長と衛生員鉄錘の人間関係およびかれらの英雄的行為。	
216	一 同 前 進		康 躍	農村合作社の農家における父と子の小さな葛藤。	
217	農 村 散 記		秦兆陽	○晌午 ○秋娥 ○兩代人	
218	「悶声不響」		柯 藍	工場における女子労働者間の人間関係。	
219	張 渭 良		李 鈇	朝鮮戦線において敵地から負傷兵を救助した張渭良の英雄的行為。	
220	創造奇蹟的人們		王西彦	朝鮮戦線に活躍する自動車輸送隊の英雄たちの寸描。	文芸報53年22期談「黄文元同志」
221	春天的嫩苗 (1953.7,8)		路 翎	戦場と化した朝鮮に春の若苗のように生長している子供たちの寸描。	
222	黄文元同志		巴 金	志願軍の一兵士黄文元の戦い。	
223	紅 領 巾		劉白羽	志願軍兵士と祖国の連累。	
224	第 一 步		康 躍	劉来順の互助参加、農村の土地の私有と社会主義化との矛盾。	
225	從歌声和鮮花想起的		路 翎	戦いに参加するさまざまな朝鮮婦人の素描。	
226	十過重点封鎖区 (1953.9)		靳 以	輸送・防空にたずさわる兵士たちの素描。	
227	風 波		石 果	恋愛・再婚に対する農民の意識変革とそのための斗争。	文芸報53年22号談「風波」

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
228	肉体残廢了・ 心没有残廢		胡 風	朝鮮における志願軍捕虜の苦斗。	
229	平凡の英雄		王西彦	志願軍の平凡な任務についた兵士たちの非凡な英雄の行為の寸描。	
230	偵 察 兵		韜 風	偵察兵伝文吉の任務完遂。	
231	西北旅途散記 (1953.10)		楊 朔	西北地方における国家建設のいぶき。	
232	新 的 家		艾 蕪	模範的工場労働者たる夫と農村模範たる妻の矛盾およびその克服。	人民文学54年2月説「新的家」
233	記李家福同志		路 翎	志願軍の一兵士李家福の素描。	
234	在觀察員的位置上		蕭 子	上甘嶺における戦闘の一断面。	
235	忘我的人—忘 我的労働和戦 斗		王西彦	朝鮮戦線におけるさまざまな英雄たちの寸描，五ツ。	
236	開城前沿英雄 陣地の巡礼 (1953.11)		碧 野	開城前沿の英雄陣地訪問記。	
237	戦闘の幸福		劉白羽	朝鮮戦線における若い無線兵の闘い。	
238	陝 北 札 記		李若水	(1) 咸宋路上 (2) 尋我黒金者 (3) 石油戦士 (4) 路過延安城	
239	忘不了的仇恨		巴 金	朝鮮戦線で捕虜になった兵士たちの忘れえぬ敵へのにくしみ。	
240	新 芽 (1953.12)		蹇先艾	新しい農村の面貌。	
241	「糧秣主任」		丁 玲	貯水池に働く労働模範李洛英の素描。	人民文学5月号，説「糧秣主任」
242	戦 士 的 心		路 翎	朝鮮戦争を通じての一兵士呂得玉の成長。	文芸報54年12号「評路翎の三篇小説」
243	夜走黄泥崗		駱賓基	軍医にたずさわる互助組員や単幹戸の人々の間の新旧矛盾の葛藤。	文芸報54年7号説「夜走黄泥崗」
244	在危難的時候		立 高	衛生兵崔玉照の任務完遂と彼の成長。	
245	永恆の友誼		李伯釗	モスクワにおける一日。	
246	被面的故事		高節操	志願軍と祖国の人との連繫。	
247	我懷念他們 (1954.1)		黃起衰	戦闘に生産に従事している朝鮮のさまざまな人々の寸描。	
248	初 雪		路 翎	朝鮮戦線で婦女子を輸送する運転手と助手と女たちの寸描。	文芸報54年2号説「初雪」
249	春天来到鴨緑江		雷 加	『春天来到鴨緑江』の一部。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
250	前 哨		陳 謙 鄭 漾	地質調査の任務完遂と夫婦愛の矛盾克服。	
251	小胖和小松		果向真	迷子になった子供と周囲の人々の配慮	
252	長 城 綫 上 (1954. 2)		杜鵬程	『保衛延安』の第五章。	人民文学54年6月 一篇鼓舞我們戰鬥意 志的小說。
253	遠 方 来 信		劉白羽	赤ん坊の写真の入った宛先知れずの手紙にまつわる朝鮮戦線の寸描。	
254	不能走那条路		李 準	農村における土地買売の克服。	文芸報54年「不能走 那条路」及其批評。
255	華 沙 行	散	鄭振鐸	ワルシャワの回遊記。	
256	送 別 南 浦 (1954. 3)	散	吳組光	南浦を去る中国の慰問団と朝鮮民衆との友誼。	
257	窪地上的戦役		路 翎	朝鮮戦線における一兵士と朝鮮娘の間のほのかな愛情とその克服・死。	文芸報54年12号 評路翎三篇小説
258	夜 帰		艾 蕪	工場がえりの若者と荷馬車を急がす農村娘の軽いスケッチ。	
259	前 進 曲		師 陀	農村合作社をめぐる世代間の斗争。	
260	勝利列車開到了		王西彦	朝鮮戦争終了後はじめて通った平壤行の勝利列車。それを迎える朝鮮婦人をめぐる物語。	
261	許 雷 伯 伯 (1954. 4)		洪禹平	許雷が一家を犠牲にして革命の同志をかくまう物語。	
262	年 仮		駱賓基	悪質商人摘発にからまる農村の新気象。	文芸報54年13号 読 駱賓基的「年假」
263	糾 紛		西 戎	農村合作社の評工問題における男尊女卑の思想とその克服。	文芸報54年13号読 「糾紛」
264	飼養員趙大叔		馬 烽	合作社の飼育係を受持った趙さんの新しい人間像。	
265	松 樹 下		苗 子	衛生検査員李樹林の熱心な職務執行とその人格。	
266	馬 店 夜 宿		公 浦	食糧の私買密輸をやっている馬店の女主人と密輸商人の逮捕。	
267	小戦士季虎		周良沛	難産に苦しむ泰族の一婦人を助けた解放軍の若い兵士と軍医。	
268	父 親		勞 洪	工人の新しい性格とその生活, 新しいモラルの発展。	
269	我懷念着遠方的朋友		白 朗	コペンハーゲン平和大会での各国婦人代表との再会と友誼。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
270	回憶師長同志 (1954.5)		汪 明	師団長の困難なしかも不拔な過去の経歴回想。	
271	旅 途		駱賓基	黄河治水に当る婦人幹部を中心にした種々な人間像のスケッチ。	
272	韓 增 禄		秦兆陽	超過供出をためらう中農韓増禄の内部矛盾。	
273	小 大 夫		遼 斐	朝鮮戦線における一人の若い女医と、かの女をはじめの間医者として未熟だとして信用しなかった一患者の人間関係。	
274	祁 連 山 麓		李若水	祁連山麓の困難な自然環境ととりくむ地質専門家たちのルポ。	
275	兩個潛水兵 (1954.6)		杜 高	朝鮮から帰った二人の潜水夫の友愛と国家建設への参加と人々の尊敬。	
276	黑 姑 娘		陳登科	淮河治水工事に参加した民工隊長黒姑娘と破壊活動をする特務との衝突。	
277	崔 毅		舒 羣	科学的追明精神にとむ中隊長の時限爆弾解体とそれをとりまく人々の人間的感情。	
278	南 河 底		李南力 吳 鏡	『戦斗英雄劉子林』の第一章。	
279	喜 筵		陳翔鶴	工場労働者の私生活と男女関係についての兩世代の新旧思想。	
280	秋収的時候		青 林	豚の商売に手をつけ失敗した劉万才と青田うりと合作者の救援。	
281	在暴風雪中 (1954.7)		瑪拉沁夫	蒙古草原の風雪の中で出産を救うため自らを犠牲にしようとした看護婦。	
282	支 持		雷 加	長篇小説「春天来到了鴨緑江」の続篇。解放戦争中の東北安東市の労働者の斗争と建設。	
283	牲 畜 專 家		康 濯	家畜のことはなんでも知っている劉春堂の新しい人間像と社会主義改造に対する彼の自覚。	
284	山楂村的歌声		劉紹棠	山楂村の合作社の活動と畑の排水をめぐっての農家の紛糾や若い男女の新しい生活態度。	
285	年 輕 的 心		艾明之	工場手記之一。	
286	水利工地生活 散記		白 刃	渾河のダム建設に従事した老人、青年の姿の素描。①老樵夫的故事。②青春	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
	(1954. 8)			的火燄。	
287	春 大 姐		劉 真	農村合作社と青年の恋愛，結婚について。	
288	海浜的孩子		蕭 平	海岸に住む二人の少年の遊び，危険に対する機智。	
289	張進徳和第六支渠 (1954. 9)		狄 耕	渭河から六本目の運河をきりひらいた張進徳の苦闘と共産党の指導。	
290	官 福 店		石 果	寡婦である母娘二人の運命や考え方のちがい。	
291	在 崗 位 上		孔 厥 袁 静	考温頭の積極的な技術学習と工場宿舍のスチームを設備するための努力。	
292	黄 家 富		楊 朔	父母を悲惨な生活の中で失った黄家富が志願軍に参加し戦場で勇敢な働きをした話。	
293	鐘		端木蕻良	時計をもたなかった胡大叔は時間が不正確であったが，時計を町の百貨店が買ってから，彼のみならず合作社の人たちも時間を浪費しなくなる。	
294	石 匠		師 陀	老石工魏兆剛の社会主義化への熱情。	
295	訪問蘇聯作家協會		方 紀	方紀，柯仲平らがソ連作家協会を訪ね，ボレフイ，シモノフ等と文学について語りあった会見記。	
296	謁列夫・托爾斯泰故居 (1954. 10)		丁易遺作	レフ・トルストイの旧居をヤースナヤ・パリヤーナに訪ねたときの手記。	
297	競 選		秦兆陽	郷の人民代表の選挙で当選したがっていた夫よりも，その妻の方が真の代表者であるとして選ばれ，夫が反省するという農村の選挙の様子を描いたコント。	
298	青春的召喚		雷 加	新しくできた林業都市で若々しく働いている趙堯老人の新しい人間像。	
299	求 雨		趙樹理	雨乞いをめぐって村の老人や，古い考えにとらわれている人たちの迷信がとりのぞかれてゆく過程を描く。	
300	老 陶		徐光耀	区書記老陶の合作社に対する模範的な指導。	
301	放飯的時候		康 濯	合作社の保管係長である王喜奎は休日もやすまぬ仕事熱心だが，倉庫の鍵を紛失して困惑するが，実は紛失したのではなくて妻が鍵をあずかっていたの	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
302	八十畝膠泥地		馬 烽	である。こうして彼ら夫妻も仲よく一日の休みをたのしむ。 工夫や発明のすきな気のあった若い夫婦が粘土地の畑を改良する話。	
303	誕 生		草 明	高速度鋼の製産をめぐるの工場労働者の人間像の種々のタイプや生活を描き、意識の進展を生産関係や家庭生活と関連させつつうきあがらせた小説。	
304	「責任事故」		柳 溪	列車の車掌の熱心な明るい勤務ぶり。	
305	人民要前進		柳 青	農村合作社のすばらしい成果を建国五周年記念によせて書いた短文。	
306	北京的秋夜		艾 燕	人民代表として北京の旅館にとまっている三人の労働者の抱負や感激を書いた短文。	
307	一支唱不完的歌		柯 藍	上海の労働者の仕事や生活の各面をスケッチし第五回国慶節を記念した文章。	
308	鳥 鞘 嶺 上 (1954.11)		洪 流	鳥鞘嶺で石油採掘に苦斗する人々の素描。	
309	輸 血		艾 燕	生産に従事していて負傷した労働者にたいする仲間たちの愛情と輸血をめぐる若い娘の新しい人間像。	
310	孟広泰老頭		李 准	旧社会からの惰性で合作社のものを私する農民の意識変革を労働模範の息子やその父、母をめぐる描いた小説。	
311	杜 務 委 員		楊 禾	結婚式の日も平常のように働き、才能にめぐまれた娘と農村の社会主義化を描く。	
312	一個無鈴的馬幫		白 樺	南方の辺境地帯での特務の活動と、それと闘う少数民族の人間像。	
313	黎 明 (1954.12)		李方立	村へやってきたトラクターをめぐる、農業の機械化に反対する父親と進歩的な息子との対立老父の旧意識の克服。	
314	最初の幾天		周立波	解放初期の工業建設を題材とする長篇小説「鉄水奔流」の一部分。	
315	秧		葉 丁	合作社を退いて資本主義へ走った農民の覚醒の過程を稲の苗の問題や合作社のそれに対する態度を通じて描く。	
316	麦 収		西 戎	合作社に入りたがらない老農夫の旧意識と息子夫婦との対立およびその克服の過程。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
317	激 流		白 刃	仏子嶺のダム建設中におこった洪水におし流されながら任務を果そうとした解放軍出身の労働者の勇姿。	文芸報1955年「三里湾写作前后」〃 1955.20「読趙樹里的‘三里湾’」〃 1956.2「缺乏愛情的愛情描写」〃 1958.7「日本作家評‘三里湾’」文芸月報1956.7「評‘三里湾’」〃1957.1「談‘三里湾’中的愛情描写」人民文学1955.7「‘三里湾’讀后」〃1955.7「読‘三里湾’隨感」〃1958.11「談趙樹理的‘三里湾’」
318	戦勝洪水の人		俞 林	女性 の身で武漢地区の洪水とたたかった副郷長劉玉英の人間像。	
319	婦 女 們		陳 森	ある島の婦人たちの男にもまさる働きぶりや生活像をえがいたルポルタージュ。	
	(1955.1)				
320	三里湾(一)	小	趙樹理	農業合作社内の新旧思想の対立と農村の新しい動き。	
321	營 参 謀 長	小	鐘 濤	朝鮮戦線における或る参謀長の活躍。	
322	回 家	小	左介貽	新しい農村における夫婦の生活と女性の地位。	
323	柳金刀和他的妻子	散特	鄭秉謙	東沙島の民兵隊長とその妻の生活感情と勇敢な闘い。	
324	相 親	散特	徐光耀	青年の新しい動きに冷淡だった老人の意識改革。	
325	父 輩 教 師	散特	魯 煤	ある小学校教師の教育とその輝しい成果。	
	(1955.2)				
326	在柴達木盆地	散特	李若冰	辺境の青海省柴達木盆地での地下資源調査隊の活躍。	
327	汽車廠速写	散特	徐 遲	曠野の新工場建設による驚異的な変貌。	
328	珍貴的礼物	散特	柯 藍	ブルガリヤと中国との間の友誼と愛情。	
329	辺 老 大	散特	陸揚烈	漁業互助組から合作社への発展と人間改造。	
330	卡萊期的歌	散特	田 間	ドイツ民主共和国の文化、芸術見聞記。	
331	在海岸上目分望	小	梁学政	其隆（キールン）の漁民生活と反米思想。（副題一獻給將解放台灣的英勇的中国人民解放軍戰士們一）	
332	三里湾(二)	小	趙樹理	（前掲）	
	(1955.3)				
333	交 易	小	駱賓基	農業合作者の結成とそれに伴う老人の思想改革。	
334	在祖国的東方	小	馬 加	朝鮮戦争時、朝鮮国境附近の農村の援朝抗米運動。	長篇小説「在祖国的東方」の9節～13節。
335	三里湾(三)	小	趙樹理	（前掲）	
	(1955.4)				

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
336	祝你一路平安	小	公 劉	偵察隊員の苦心の行動と英雄的な戦死。	長篇小説「風雲初記」の一部
337	解凍以後	"	遼 斐	赴任途上の女教師と老漁夫。	
338	三里湾(完)	"	趙樹理	(前掲)	
339	金君瑪梅	散特	顧 工	道路建設の解放軍兵士とチベット人との兄弟愛。	
340	一個民族找到自己的祖国 (1955.5)	"	馮 至	ドイツ民主共和国の少数民族東爾本人の輝しい文化。	
341	夜 裏	小	舒 羣	新しく学校を卒業した一女性の情熱。	
342	在歡樂的天上 草原上	"	梁学政	カザック族の生活, 結婚, 風俗, 習慣。	
343	小珍珠和劉師 伝	"	徐錦珊	模範的な技術員に成長した女子工員。	
344	聰明的架工們	特	徐 迟	鉄鋼工場の労働者の創意と工夫。	
345	探 砧	"	黄若海	マンガン試掘の技師と実習生の苦心と成功。	
346	第三次要求	"	梅 定	引退した老労働者の建設への情熱と現役復帰。	
347	楓	散特	和谷岩	弾薬輸送隊員の英雄的行動。	
348	匈牙利的陶工 城市科姆洛 (1955.6)	"	艾 燕	ハンガリー炭礦都市の見聞記。	
349	蓋 滿 爹	小	周立波	地味な一人の農村指導者の活動。	
350	我 和 小 栄	"	劉 真	抗日戦における少年, 少女連絡員の活躍。	
351	春 夜	"	楓 林	合作社副社長の若い女性の社会主義への情熱。	
352	蔣家父女	"	孫 犁	1939年頃, 抗日戦争中の農村。	
353	跋涉者的問候	特	井 頻	ゴビ砂漠測量隊の苦難。	
354	英勇不屈的人 ——伝正明	"	林 里	肉体的不利な条件を克服した不屈な工場長。	
355	調度室主任	"	陳登科	ゴビ砂漠の水利工事の障害を克服した技師。	
356	水利工程師	"	碧 野	蒙古地方の水利工事に献身する一技師。	
357	小 黒	散特	李 準	好奇と冒険に富む少年の解放軍入隊と意識の成長。	
358	哈薩克民間詩人 司馬克勒	"	王力胡	カザック族の一民間詩人訪問と紹介。	
359	李 季 查	"	雷 加	新しい建設の意欲に溢れるチェコスロバキア訪問記。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
	(1955.7)				
360	堰 溝 辺	小	沙 汀	農業社の貧しい幹部の活動と情熱による妻の意識改革。	
361	孫万福老頭	"	蔡天心	エゴイストの老人の意識改革と農業合作社成立。	
362	劉培錫和桑吉	"	劉峙楚	激流を乗り越える英雄的な筏流し。	
363	蜈 蚣	"	任大霖	農村の少年達の生活と成長。	
364	感謝和決心	特	周 競	急激に発展する鉄道建設。	
365	幸福的「南村」們	"	周 競	奇蹟的な発展を続ける地方の労働者の心意気。	
366	去土地路上	"	范 彪	工場内での男女の恋愛と結婚。	
367	潜水員小程	"	馬道驊	潜水夫になるまでの青年の情熱。	
368	未來的紅色專家	"	汪受善	偉大な労働英雄の製鉄工。	
369	在 風 暴 中	"	趙懷祖	暴風下の建設工事。	
370	金 師 伝	"	白 刃	機械の設計に献身的な一人の技師。	
371	金 堯 老 漢	散特	鄭秉謙	漁業生産合作社と保守思想の一老漁夫の意識改革。	
372	訪泰戈爾故居	"	周而復	インドの愛国詩人タゴールの紹介と旧居訪問記。	
	(1955.8)				
373	檢驗工業英	小	南 丁	一人の女性製品検査員の生産向上に対する情熱。	人民文学1955.12 読「檢驗工業英」
374	劉二和与王繼聖	"	趙樹理	封建的な旧中国農村社会。	
375	重 逢	"	顧 工	道路建設に伴うチベット族の協力。	
376	獵人的子孫	"	藍 芒	一偵察隊員の英雄的な活躍。	
377	新 路	特	陳 旗	一人の保守思想の職人の思想改革。	
378	速 度	"	汪 渝	夢みた工員の現実に落胆した一工員の意識改革と再起。	
379	好 徒 弟	"	陳鑑堯	対立した新旧両思想の職人とその和解。	
380	女 実 習 生	"	洪 流	一女性測量技師のたゆまぬ努力と情熱。	
381	孫 实	散特	林斤瀾	農業合作社に対する青年の夢と現実。	北京文芸1958「林斤瀾小説的芸術傾向。」
382	格爾蓋依	"	雷 加	ハンガリーの作家グルガイ（不詳）訪問記。	
	(1955.9)				
383	不知道的事情	小	泰兆陽	農業合作社における富農分子と積極分子の闘争。	長篇小説の一部。

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
384	在風雪到来之前	小	易 鞏	吹雪襲来を目前にした内蒙古建設工事場。	
385	糧 食	"	孔 文	エゴイストの老婆と彼女に立向う書記。	
386	船	"	劉紹棠	富農分子の食糧不正売買発覚のエピソード。	
387	三 妮	"	劉文彬	農業合作社に加入した勝気な一人の主婦の喜び。	
388	兩個年輕人	特	何沢沛	海岸堤防工事現場に働く師範学校出の二人の若い男女。	
389	節 日	"	張徳裕	国家建設に励む一少年技術工の生い立ちと生活。	
390	跌 落 崖	"	楼佳基	鉄道敷設の障害を遂に克服した実習生。	
391	五 次 任 務	"	万憶萱	発展途上の炭坑に於ける一人の献身的な労働英雄。	
392	友 情 (1955.10)	特	哈 華	旅順の駐留ソ連軍の子弟と中国青年の友情。	
393	軍 人 性 格	"	周 競	実戦の兵士が工業建設の戦士として成長し力量を発揮する。	
394	单敏和他的「黒閨女」	"	方衍宏	機関手の機関車に対する愛情、同僚達間の相互信頼。	
395	中 秋	"	白 刃	中秋を控えた大雨の中、隣人愛に結ばれたすざましい建設意欲。	
396	公路現場終点	"	楊居人	トラック輸送員と辺疆に働く人の高い労働精神。	
397	開鑿秦嶺的人們	"	尹建平	鉄道トンネル貫通工事に従事する人たちの苦斗。	
398	安 得 克 夫	"	喬立英	中国に派遣されたソ連の技術家と中国人の友情。	
399	在軌道上前進	小	白 朗	抗美援朝斗争中の傷病兵看護に従事する若い娘たち。	長篇「在軌道上前進」の第5章～第9章
400	夏 天	"	艾 蕪	残存する誤った農民の私有欲。	
401	黄河灘之夜 (1955.11)	散	振 亜	堤防守りの人たちの水害との斗い。	
402	小 豆 兒	小	王 蒙	国民党特務の叔父とそれを助ける父を子供の正義心と母の協力で告発。	
403	劉士海爸爸的皮包	"	白小文	三人の少年先鋒隊員の窃盗犯人逮捕の手柄。	
404	媽媽的故事	"	菡 子	革命戦争中に国民党に生き埋めにされた母の思い出。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
405	零五号工程設計図	小	万憶萱	公安課の特務逮捕の活躍。	人民文学1956.1「揭露‘青年電焊工’作者的抄襲行為」
406	赶着高炉跑	特	戈 揚	高炉操作の克服。	
407	在煉鋼廠的吹炉傍边	〃	艾 燕	意識の低い青年の労働模範になるまでの成長。	
408	奔馳在草原上	〃	遼 斐	東北の開墾事業に参加した一少女の頑張り。	
409	新入夥的碓工	〃	范 彪	二人の性格の異なる若い労働者の仕事ぶりの対比。	
410	新的記録	〃	趙懷祖	測量隊の若い隊員は新記録を創造し、古い経験第一の隊員は「迷信」を打破する。	
411	青年電焊工 (1955.12)	〃	沙向陽	発電所建設に参加した電気熔接工。	
412	過 渡	特散	沙 汀	農民大衆の幹部に先行する前進性。	
413	一九五五年秋天在皇甫村	〃	柳 青	ある合作社の社員の紹介。	
414	幸 福	〃	艾 燕	合作化一年後のある一家の安定かつ充実した生活。	文芸報1956.8「農村生活的脈搏」
415	一棵樹上四朶花	〃	藏克家	四つの異民族から成る農業社とその民族の友情を大切にす社長。	
416	宋老大進城	小	西 戎	おしやべりでお節介でお人好しの老人の城内での行動。	
417	初春的一天	〃	李方立	春耕生産の始った合作社を社長の仕事を追うことによって全貌を展開。	
418	「觀 音 暴」	〃	鄭秉謙	出漁中に出遭った暴風に見せる親子二代のそれぞれの反応。	
419	一隻想飛的猫	〃	陳伯吹	与太で怠けもので傲慢な猫が見栄のため空を飛ばうとして足を折りひどい目にあう。	
420	斯傑潘諾夫和王福厚	特	哈弼亮	ソ連技術家の兄弟愛的な援助と指導と協力。	
421	春 節	〃	孟慶和	トラック運転手と家で待つ若い妻。	
422	我們的機長 (1956.1)	〃	忠 民	試掘工の機長の突出した責任感とその人柄。	
423	整社基点村的一天	小	王安友	合作化運動の中で農民の自然な欲望と素朴な思想が幹部の原則主義・官僚主義の誤りを指摘し是正する。	
424	長輩吳松明	〃	柳 紀	合作社の養鶏養豚の普及に苦心する六十余才の老人。	
425	副社長陸新	〃	澗 德	合作化の有利と合作化が生む隣村との親交。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
	(1956.2)				
426	永遠唱不完的歌	小	劉白羽	朝鮮戦線で感動的な戦斗をする勇敢な電話兵。	長篇「浪淘沙」の第9章～第13章
427	十棵蘋果樹	〃	王安友	リンゴの木に対する強い愛着を捨てきれない老人の高級社入社。	
428	水 向 東 流	〃	李満天	合作化運動の初期段階中の貧農と富農の対立を通して農民の切実な社会主義化への願望を描く。	
429	小 英 子	〃	右 枚	初めて工作に加わったまだ幼さや茶目っ気の抜けない少女。	
430	某 城 紀 事	〃	蕭 翔	特務を追跡して逮捕する公安課員の活躍。	
431	黄浦江辺の新船廠	特	季 音	新しく公私合営した造船工場の躍進。	
432	荒地下面是幸福	〃	舒小平	黒竜江の大荒地を開発する北京青年墾荒隊の愛国心に支えられた苦斗。	
433	太陽河畔的处女地	〃	秦 牧	海南島の荒地を開発する三千百余人りの華僑の農村集団。	文芸報1956.11「給読着一些甚么」 人民文学1958.12「農業合作化的万花鏡」
434	野 葡 萄	小	葛翠林	美しく優しく勇敢な盲の少女がその眼を治す野葡萄を求めて冒険する。	
	(1956.3)				
435	風 雪 之 夜	特散	王汶石	区委員会書記の若い合作社に対する熱心な指導。	
436	在区委会里	〃	崔 璇	合作化運動を自発的にまた熱心に推進してゆく農民大衆のエネルギー。	
437	從城里来的姑娘	〃	海 默	インテリ娘の下郷。	
438	移山填海的人	〃	何沢沛	堤防を築き、道を開き、鉄道を敷こうとする若者たちの自然に対する挑戦。	
439	把永定河水引进首都来！	〃	楊 朔	首都に通じる運河を掘る軍人から転業した人、村からやってきた人たちの仕事に対する自信。	
440	冬季農村即景	〃	淶 斐	農業合作化が生んだ新しい情景。	
441	欲騰的鄉村	〃	李 淮	合作社の天を衝かんばかりの躍進と農民の意気。	
442	察汗通溝一日夜	〃	碧 野	寒さのきびしい夜の測量工作隊の敢斗。	文芸報1956.8「在橋梁工地上’是一篇出色的特写」 文芸報1956.9「重要的是必須干預生活」 文芸報1956.9「要探索和思考」 文芸報1956.9「在橋梁土地上 里’的党委書記」 文芸報1956.14「“正面力量”種種」 1956年度特写選「序言」
443	走 上 新 路	〃	任 幹	資本家の翻身。	
	(1956.4)				
444	在橋梁工地上	特	劉賓雁	保守主義と右傾思想の持ち主が生き残り、前進的な正面人物が軽視される矛盾を暴露。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
445	雪 天	特	林斤瀾	あまりにも激しい合作化の高潮はやり手の社長の思想さえそのスピードについてゆけない現象を生む。	北京文芸1958.3「林斤瀾小説の芸術傾向」
446	追 趕	〃	淥 斐	新しく成立した合作社が古い合作社を圧倒してゆく。	
447	家禽飼養員	〃	王 林	明るく朗らかな飼育係の娘。	
448	陳長寿迎接合營	〃	丁克林	公私合營直後の鑄鉄工場は農業の躍進に追いつくため頑張っている。	
449	劉排長和小金枝	〃	大 羣	中国志願軍の兵士と朝鮮人少女の友情。	
450	黒 宝 石	〃	鄭文光	六人の少年先鋒隊員の探鉱記。	
451	雨亭叔公的双筒槍	〃	任大星	貧しい幼い娘が金持の猟銃で足を射たれて死ぬ解放前の話。	
452	軍 事 游 戲 (1956.5)	〃	卞祖芳	少年たちの兵隊ごっこ遊び。	
453	初 到 工 地	〃	張 曉	初めて工場に作業にやってきた若い女工のよろこび、期待、不安。	長篇「土地上的星光」の一部分
454	羞 恥	〃	高延昌	模範紡績女工の気のゆるみから重ねてゆく誤り。	
455	在 高 潮 中	〃	佟震宇	生産競争心の正しい燃やし方。	
456	蒙帕在幻想	〃	季 康	傜族の少年の大人勝りの仕事ぶりとかれの成長。	
457	列 車 長	〃	顧 工	十年振りの戦友との邂逅とその回想。	
458	爬在旗杆上的人	特散	耿 簡	幹部の大衆から離脱した指導傾向を辛辣に諷刺。	
459	爆發,前進!	〃	楊世元 流沙河	トンネル工事の障害物を爆發する新方法は同時に保守思想をも爆發する。	
460	嘩 啦 河 上	〃	申均之	農村青年の前進的なリーダーシップ。	
461	中国的老茹尔賓	〃	張明権	中国の歴史の進展と共に積極的に生きた老労働者の物語。	
462	開 路 的 人	〃	白 朗	過去に於て文盲無知であった労働者が党の指導と援助の下に技術者に成長する。	文芸学習1957.9「劉賓雁給『本報』指出的方向」人民文学 1957.10「从『本報内部消息』開始一股創作上的逆流」人民文学 1958.6「从『本報内部消息』中的主要人物看到劉賓雁的反党思想」人民文学 1958.9「評『本報内部消息』」
463	当瓦斯送上地面以后 (1956.6)	〃	陸 灝	炭坑の底にたまるガスを地上にパイプで送るまで。	
464	本報内部消息(一)		劉賓雁	新聞社内部における幹部の公式主義への斗い、及びコムニスト人間像のありかたの問題。	
465	波 濤 万 里	特	鄭秉謙	“為甚麼?”と常に疑問を持ち、漁船の操業技術の改革を生んだ船長の物語。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
466	追 老 姚	特散	福 庚	郵便配達夫の熱心で忠実な仕事ぶりの追跡。	
467	活 命 草	小	巴 金	1952年の秋、開城附近に滞在した時に、友だちになった幼い朝鮮人の少年少女の思い出話。	
468	阿福寿宝記	"	瑤 望	悪童の息子が父の大事な道具を売り払い小遣いにする。その道具を探して歩きまわるうちに忘れていた父子の愛情が甦える。	
469	大剛和小晚的一天	"	劉祥至	仲良しの二少年の家庭の・学校の生活。	
460	媽媽開会去了	"	王善繼	母さんを送り出したあとの留守番を守る三人兄妹。	
471	“ 医 生 ”	"	梅中泉	幼い子供のくすりや医者に対する興味の芽生え。	
472	李長根和他的同學們	"	馮玉衡	無邪気な子供の世界にも社会主義道徳の芽がある。	
473	還 鄉 雜 記 (1956.7)	散	冰 心	40年ぶりの帰郷。	
474	總有一天(上)	小	黄 遠	純潔な青年たちを痛みつける旧社会の非人間的な封建性と青年たちの新社会への渴望。	
475	追 匪 記	"	楊尚武	辺疆の国民党の残匪を戈壁沙漠の中を追跡する三人の兵士。	文芸報1957.1「激情和芸術特色」1956年度短篇小説選「序文」
476	糧食的故事	"	王愿堅	革命戦争中のゲリラ隊に糧食の調達に苦労した一党員の辛酸な経験。	1956年度短篇小説選「序文」
477	申 請 入 党	"	白晨曦	インテリの入党申請の動機。	
478	種宝的姑娘	特	大 羣	荒野開墾のトラクターを運転する娘の高く激しい労働意欲。	
479	煉鋼能手楊錫思	"	艾文会	煉鋼工の思想的な成長は技術の上でも種々の工夫を生んでいった。	
480	青山懷里的人	"	吳源植	辺疆の橋守りの目立たない活動。	
481	辦公室主任	"	李 易	公事の極端な多忙が種々の矛盾と弊害を蓄積してゆく。	
482	夜趕八十里 (1956.8)	"	李成財	農民の頑張りに刺激されて一層精を出す労働者。	
483	三 月 雪	小	蕭 平	農村解放で犠牲になる女党員とその娘の意識変革。	文芸報1957.1「激情和芸術特色」1956年度短篇小説選「序文」
484	伝 書 遞 簡	"	易 飛	スパイ暗号の解説と主謀者のたい捕。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
485	一个森林警察 隊員の筆	散	谷 峪	森林踏査とスパイ発見, そのたい捕。	
486	總有一天 (下) (1956.9)	小	黄 遠	(前掲)	
487	小 砧 工	〃	大 群	肉身の死の中で抗日意識にめざめる炭坑の少年。	1956年度短篇小説選「序文」文芸報1957.1「激情和芸術特色」続編(1957.)あり
488	亡命走欽州	〃	李六如	武昌烽起直前, 欽州官僚の腐敗ぶり。	「六十年的變遷」の第1卷5章
489	組織部新来的 青年人	〃	王 蒙	官僚主義・權威主義批判。党組織部内情。	文芸報1956.20「組織部新来的青年人」文芸報1957.1「激情和芸術特色」文芸學習1956.12「关于“一”的討論」1956年度短篇小説選「序文」
490	愛 情	〃	李威俞	三角關係めいた感情の清算及び工作との關係。	文芸學習1957.4「愛情和写愛情」人民文学1957.4「幾篇描写愛情的好小説」
491	永不熄滅的火 焰	〃	晏 楓	工場の生産刷新運動と反右派の斗い。	
492	憶魯迅先生一 九二八年杭州 之游	散	川 島	魯迅と景宋夫人が作者と許欽文の招きで西湖に遊んでニセ魯迅に会う記。	
493	陳学孟看到了 未来	〃	菡 子	幹部日和見主義に反対し合作社化をかちとる老農夫。	
494	風雪山山上 (1956.10)	〃	碧 野	天山馬札山をウイグル青年の案内で踏査。	
495	伐木者的旅行	〃	陶尔夫	森林に梁橋材木を求めての自然との斗い及び党への信賴。	
496	灰 棋 山 下	〃	劉 真	夫をテロに失い遺児を育てて紅軍を待つ母。	1956年度兒童文学選「序言」
497	五顆小小的心	〃	菡 子	子どもたちの純真な氣持を5章に分けている。	
498	本報内部的消 息(完)	小	劉賓雁	(前掲)	
499	在嚴寒的日子 里	〃	丁 玲	国民党の巻き返しの中で解放への決意を新らたにする農村の人々。	
500	小 美 子	〃	孔遲耕	恋愛と工作とのつながり。	
501	父 女 倆 (1956.11)	〃	駱賓基	農村の「嫁」の解放と老人の保守性。	
502	甲 方 代 表	〃	張 弦	愛情と困難な工作との統一的解決。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
503	誰偷去了的声音 (上)	小	林 欣	沿岸警備隊のスパイ電信組織摘発。	1956年度特写選「序言」
504	槍	〃	王世鎮	少年団の抗日意識と銃への執着。	
505	明珠和玉姬	〃	巴 金	朝鮮の少年少女の友情。	
506	熱 愛	散	柯 藍	爆撃による失聴にめげず島の防衛に生きる軍人。	
507	洛陽古今記	〃	李 從	建設進む洛陽でその伝統のよみがえりを誇る。	
508	草 原 即 景	〃	蕭 乾	蒙古草原トラック紀行。	
509	森 林 炊 烟 (1956.12)	〃	伝 仇	人跡未踏の森林の探査。	
510	蘿 北 半 月	散特	谷 峪	人民日報の蘿北開拓現場のルポルタージュ。中央と地方、幹部と普通労働者、積極分子と消極分子の問題点にも言及。	
511	天山景物記	〃	碧 野	天山山脈のめずらしい動植物や蒙古平原の雄大な姿の紹介。	
512	童年時代的朋友	〃	任大霖	幼い頃の友、とり、いぬ、あひる、がちょうなどの小さい動物の思い出。	1956年度児童文学選「序言」
513	汗 和 眼 淚	〃	曹 禺	第2回原水爆禁止世界大会（長崎）に参加したときの被爆者の印象を中心にした感想文。	
514	森林里的女戰士	〃	遼 斐	憶病者の娘が森林調査隊の組長となり、りっぱな成績をあげるまで。	
515	種 子	〃	吳晨筭	父の子供観察記。	
516	鉄 木 前 伝	小	孫 犁	解放以前と以後の農村に於ける対立した二つの人間像。	
517	重 逢	〃	鄭秉謙	国民党のスパイの手先として帰ってきた父が子供のぎせいで改心する。	
518	礼 物	〃	谷斯範	革命4週年記念のナセル演説に生れる赤ん坊へのおくりものを忘れて「スエズ運河会社国有化宣言」のビラをもち帰る。	
519	人民的女兒	〃	許 汀	子供を犠牲にして指導者父子を助ける人民。	
520	友 情	〃	施 荊	横恋慕の感情処理と友情。	
521	誰偷去了声音 (下) (1957.1)	〃	林 欣	(前掲)	
522	台 湾 姑 娘	〃	林斤蘭	2.28事件に死んだ台湾むすめの回想。	北京文芸1958.3「林斤蘭小説的芸術傾向」

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
523	年 輕 人	小	也 辛	幹部官僚制への失望とそこからの立ち直り。	文芸報1957.1「読‘明鏡台’」
524	明 鏡 台	"	耿竜祥	国内戦での人民の援助の回想と現在のある娘。	
525	冬 雨	"	王 蒙	子供の創意性のかわいらしさ。	
526	同 志	"	余以平	国民党地区突破に際しての人民の協力。	
527	仮 日	"	布 文	忙しい工作与学生妻の矛盾。	
528	沈 黙	"	何又化	区長の徹底した官僚主義。	人民文学1958.5「評‘沈黙’」
529	灰色的帖篷	"	李 准	偽瞞的工作者の自覚。	
530	宝葫蘆的秘密(一)	"	張天翼	思ったことを何でもなにかえる魔法のひょうたんを手に入れた少年のよろこびと困惑。童話。	文芸報 1958.10「一篇心理的幽默的，教育的童話作品」
531	過 生 日 (1957.2)	"	康 濯	古い習慣への愛着をもつ老人と寛容な老人対策の区委長。	
532	奇襲虎狼窩	"	曲 波	山にとじこもる国民党のセンメツ戦。	〔「林海雪原」の第3章～第8章 解放軍文芸1958.6「‘林海雪原’の芸術結構」 解放軍文芸1958.8「試談‘林海雪原’の伝奇性」 処女地1958.3「‘林海雪原’瑣談」 北京文芸1958.7「英雄的氣概，民族的風格」 読書1958.12「略談‘林海雪原’」 1958.7「論‘林海雪原’」 文芸報1959.3「一部引人入胜の長篇小説」
533	菊 影	"	曾 華	第一線で倒れた文工隊員の思い出。	
534	指 導 員	"	曾 華	勇敢な指導員の思い出。	
535	離 婚	"	布 文	妻の新生に離婚の決意を翻えず夫。	
536	趙本根的煩惱	"	履 冰	保守農民の落后思想。	
537	宝葫蘆的秘密(二)	"	張天翼	(前掲)	
538	嘉陵江上	特	井 頻	峻しいガケと谷を測量する隊員の献身的な姿。	
539	馬端の墮落	"	荔 青	戦争英雄が解放後機関幹部となつてからの墮落したこと，その救いのなさを描く。	
540	無声の旅	散	陳白塵	ロシア語をしない作家のモスコー北京の飛行機の旅。	
541	洛陽游記 (1957.3)	"	張畢来	古都洛陽の文化遺跡訪問記，白居易の古跡と文学者の古今雜感。	
542	南疆景物記	散	碧 野	新疆南部，タクラマカン砂漠辺半月地帯の野趣あふれる風物。	文芸報1957.2「葉笛的歌」
543	台 湾 人	"	田 野	台湾の実状とその歴史，そして解散を求める台湾人。	
544	説游山の脚力	"	李健否	山遊びの思い出とロバの利用について。	
545	散 文 五 題	"	郭 風	五つの随感，祖国と平和への讃歌。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
546	閘門及基他	散	柯 藍	自然や建造物は生活の象徴のごとくみえる。生活への讃美。	1957年度短篇小説選 「序言」
547	冬 天 的 樹	〃	汪曾祺	冬の木のスクッとしたたくましさ。エジプト支持の静かなデモ風景。バス乗務員のいろいろ。	
548	聶魯达的海滨別墅	〃		チリー・中国友好とネルーダの平和愛好の精神をたたえる。	
549	三 峡 之 秋	特	方 紀	長江三峡に活躍する地質学者、技師の情熱あふれる活動と中ソ技術交流へのカンカータ。	
550	施工的靈魂	小	雷 加	中学を出たばかりの青年が測量班で測量技術を体得してゆく。	
551	嚴寒的夜晚	〃	蕭 殷	国共第二合作時。寒さに眠れない夜をバスケットなどしてしのいだ戦友と社会主義のために流された血への追憶。	
552	李 四 先 生	〃	李 准	新しい時代科学などを軽べつしていた漢方医が西洋医と協力して目ざめて行く。	
553	金得宝的苦惱	〃	蘇 汎	個人の所有にたちきれぬ未練を残した一農民の合作者運動への動揺。	
554	宝葫蘆的秘密 (三) (1957.4)	〃	張天翼	(前掲)	
555	老魏和芳芳	小	張懷金	日常生活を社の運営第一に送る母親。	北京文芸1958.3「林斤瀾小説的芸術傾向」
556	民 兵	〃	周立波	農村の嫁の新しいタイプと旧習打破。	
557	雨	〃	艾 蕪	汽車の車掌(女)の学習熱心な青年労働者への淡い恋情。	
558	女 婿	〃	李 納	若い未亡人の再婚と老母の対立→解決。	
559	家 信	〃	林斤瀾	上級の権威主義を批判する農民父子。	
560	車 票	〃	劉 泉	素朴謙虚な軍人英雄と思いあがった若手俳優の対照。	
561	我 和 李 彬	〃	徐 良 濤	たのしい中学生活の中で育つ正しい友情。	
562	宝葫蘆的秘密 (完)	特	張天翼	(前掲)	
563	被困困的農 庄 主 席 (1957.5,6)	〃	白 危	多角経営の困難、外来客のわずらわしさに忙しい農村幹部。	
564	老 鄔	小	沙 汀	合作社の食糧分配の矛盾を処理する社長。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
565	姐 妹	小	林斤瀾	二人の孤児の新社会に参加するまでの生活。	北京文芸1958.3「林斤瀾小説的芸術傾向」
566	勝利的序曲	〃	吳 強	反撃戦を前にする兵士たち。	
567	我們都是学生	〃	鳥 煤	学問へ意欲を燃す二人の人物。	
568	愛的成長	〃	藍 珊	継子の継母に対する転変。	
569	我的愛人	〃	柳 溪	失明した戦士に対する看護婦の愛。	北京文芸1958.3「林斤瀾小説的芸術傾向」
570	一 瓢 水	〃	林斤瀾	トラック助手の遭遇した奇怪な小事件。	
571	庄灰色日子里	〃	果向真	国民党軍から脱走する共産党員の父とそれを助ける娘。	
572	紅色故郷隨筆 “没有弦的胡 琴”	散	馬 寧	旧社会の弾圧にめげず人々に喜びを与える少年楽士。	
573	紅色故郷隨筆 “小紅旗的風 波”	〃	〃	纏足に対する婦人たちの怒り。	文艺報1957.1「隱含的故意」人民文学1957.9「对‘改選’和‘美麗’的意見」人民文学1958.9「一株攻撃党的領導的毒草」1957年度短篇小說選「序言」
574	紅色故郷隨筆 “兄弟便是朱 德”	〃	〃	朱德のもつ親近感。	
575	紅色故郷隨筆 “通緝蘇維埃”	〃	〃	国民党の無暴な弾圧。	
576	当魯迅先生写 “阿Q正伝” 的時候	〃	川 島	「阿Q」を書いている頃の魯迅との対談。	
577	在山陰道上	〃	方令孺	魯迅の故郷を訪れたときの感慨。	文艺報1957.1「隱含的故意」人民文学1957.9「对‘改選’和‘美麗’的意見」人民文学1958.9「一株攻撃党的領導的毒草」1957年度短篇小說選「序言」
578	鼓舞感激追憶	〃	塞先艾	魯迅の愛読者である「私」が魯迅から受けた感慨。	
579	我們來談雲銀 河和牽牛花…	〃	郭 風	白雲、銀河と牽牛花……等の自然に擬した散文詩。	
580	黄昏海河辺	〃	谷 峪	船員の祖父の苛酷な過去を回想。	
581	祖国的泥土	〃	袁 鷹	越南旅行記、祖国の土に愛着する越南人。	文艺報1957.1「隱含的故意」人民文学1957.9「对‘改選’和‘美麗’的意見」人民文学1958.9「一株攻撃党的領導的毒草」1957年度短篇小說選「序言」
582	亜州日出	〃	楊 朔	スエズ運河における旅行記、エジプト青年の祖国愛。	
583	農 莊 筆 記 (1957.7)	〃	青 林	三人の快活な娘を中心として農庄の耕作をみる。	
584	改 選	小	李国文	人々に無視されていた積極的労働者が遂に民意をかちとる。	
585	落	〃	柳 杞	元地主の高級合作社化にたいする相かわらぬ保守性。	文艺月報1957年12月「从『紅豆』看作家的思想和作家傾向」人民文学1958.9「‘紅豆’的問題在哪里？」
586	紅 豆	〃	宗 璞	解放直前、大学生江玫が恋人の資本家息子の逃亡の誘いを絶って革命に投じる。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
587	美 麗	小	豐 村	工作に於ける恋愛生活。	{『『美麗』是一篇充滿毒素的小説』 文芸月報1957.10 人民文学1958.5 「読『美麗』」
588	春 天 的 風	〃	艾 蕪	家族委員の妻に対する夫の不服と意識変革。	
589	楊 垂 男	〃	程造之	恋愛を通じえ旧い環境から脱出しようとするができなかった資本家娘の矛盾。	
590	冤 家	〃	田 濤	地主父子の横暴に対する斗争。	
591	海 上 宏 音	〃	王統照	死者を弔う少年楽士の戦争による悲惨な過去。	文芸月報1958.3「読 兩篇描写知識分子の 小説」 1957年度短篇小説選 「序言」
592	跑 竜 套	〃	沈從文	京戲に対する批評	
593	梅 蘭 竹 菊	〃	啓 明	宗教，風物と中国の關係。	
594	新疆半月記	〃	老 舍	兆陽にあてた新疆からの手紙。	
595	談 養 花	〃	鳳 子	花の栽培についての随想。	
596	伝 説	〃	端木蕻良	伝説の中の勇敢な青年と酋長の娘との愛。	
597	小 馬 戲 団	〃	〃	馬戲団をみた感慨。	
598	節 日	〃	〃	永久に消える記憶を“幻想”の中に求める。	
599	太陽正在上昇	〃	劉北汜	都市計画による変貌。	
600	星 期 天	〃	汪曾祺	日曜日の中の三つの楽天的な風景。	
601	父 親 (1957.8)	〃	楊田村	短気だった父の変革。	紅岩1958.1「灰色の 毒蛇」
602	艱辛的日子	〃	王西彦	大学教授の思想改造。	
603	玉姑山下的故事	〃	蕭 平	幼なじみの娘が共産黨員の父とともに国民党の圧迫を受けて生きていく。	
604	回 国 之 前	〃	梅 漂	長男を祖国の大学に送り出す華僑の一族。	
605	最後の雑誌	〃	張 弦	雑誌を買いに来る青年にほのかな愛を感じずる女書店員。	
606	林 中 夜 行	〃	杭 桺	暴雨の夜，副区長の盛んな感慨。	
607	冷却了的悲痛 “母親”	〃	徐懋庸	亡くなった母親への懐惜。	
608	冷却了的悲痛 “嘩子”	〃	〃	娘嘩子の死の回想。	
609	春 天 頌	〃	麗 砂	春の喜びを翅膀斗争声音に託して詠う。	
610	記重印遊仙窟	〃	川 島	魯迅の協力を受け「遊仙窟」を版行したときの事情。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
	(1957. 9)				
611	在牛棚里	小	沙 汀	社員の生活窮状の訴えに対処する隊長。	
612	冤家路窄	"	欧陽山	いがみ合う二人の農夫の和解。	
613	小砧工(二)	"	大 群	前作の主人公が抗日ゲリラ隊に入ってから話。	
614	意大利随筆	散	何家槐	イタリー旅行記(1)。	
615	卡薩布蘭卡夜話	"	方 蕾	外国勢力の圧迫の下で独立をねがうモロコの現地。	
616	帰 国	"	田 野	台湾から脱走して祖国に帰ってきた喜び。	
	(1957. 10)				
617	国際友誼号	小	陸俊超	ポーランド船の操縦士のある航海に於ける体験。	文芸月報1958. 10「談陸俊超同志的創作」1957年度短篇小説選「序言」
618	織 女	"	梁 彦	想像の織女を現実の女性の中に発見。	
619	核桃の秘密	"	劉 真	ある家の核桃を盗んだ頃の回想。	
620	草 原	"	林斤蘭	草原を走る馬車の御車李愛子の楽天的な行動。	北京文芸1958. 3「林斤蘭小説的芸術傾向」
621	阿 娜	"	胡学文	青年突撃隊長阿娜の決死的な働き。	
622	年 輪	散	端木蕻良	人民の社会主義・社会建設への進歩を年輪に擬す。	
623	月亮最圓的时候	"	"	旧社会の貧困と新社会の豊饒との比較。	
624	一對孿生兄弟	"	"	右派分子の作家に対する攻撃。	
	(1957. 11)				
625	歌 声	小	王愿堅	窮地にいる兵士が、ソ連軍の歌声にはげまされる。	
626	臘 妹 子	"	周立波	除四害運動で活躍する腕白娘。	
627	黄 昏 以 后	"	駱賓基	なまけものの老人が女隊長に戒められ転変する。	
628	春 蚕	"	何海岩	薪不足で桑を切る老人とそれでも養蚕に努力する娘たち。	
629	意大利随筆(2)	"	何家槐	イタリー旅行記(2)。	
	(1957. 12)				
630	戦火中の青春	"	陸桂国	解放戦争に於ける青年隊員の勇敢な活躍。	
631	第 一 課	"	管 桦	婦人たちの助力で日本軍の包囲から脱出。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
632	魚	小	田 濤	奸智にたけた地主に反抗する村民と屈服する老人たち諸相。	
633	秋 生	"	蕭 平	手におえなかった少年が立派な青年に成長する過程。	
634	百 花 山	"	楊 朔	少年期に受けた懐疑心を革命戦争の中で克服する青年兵士。	
635	蔚藍的黃海	"	韓希梁	黃海に於ける航海の体験。	
636	夢 晚 会	"	谷 峪	ネパールの労働者の生活を自然環境を舞台とした戯にみる。	
	(1958.1)				
637	山郷巨変(1)	"	周立波	多くの障害をのりこえて遂行した合作化運動。	読書1958.10「欲呼中国農村的巨大變化」読書1958.13「対‘山郷巨変’的意見」文芸報1958.18「読‘山郷巨変’」人民文学1958.7「關於‘山郷巨変’答讀者問」人民文学1958.7「読‘山郷巨変’」
638	夜 晚	"	駱賓基	国内戦期の戦場を通る車中での兵士の回想。	
639	一個明朗的早晨	"	劉白羽	灌漑工作にあらわれた新旧対立と新しい愛情。	
640	狂喜礼記	散特	老 舍	十月革命四十周年紀念に参加しての感想。	
641	劉介梅啊劉介梅	"	燕 凌	資本主義思想から転変した劉介梅。	人民文学1958.4「从‘平常’中發現不平常」人民文学1958.6「談最近的短篇小說」人民文学1958.12「短篇小說的收穫」
642	面对台湾海峡	"	白 艾	金門島に面する島の軍隊。	
	(1958.2)				
643	一個平常的女人	小	杜鵬程	鉄道敷設工事場で積極的に労働をする女性。	人民文学1958.5「嚴重歪曲現實的‘除夕’」人民文学1958.5「‘除夕’不是毒草」人民文学1958.5「和‘除夕’的作者談幾句話」人民文学1958.6「‘除夕’的問題在哪里？」人民文学1958.7「‘除夕’滿含毒汁」人民文学1958.7「‘除夕’是較好的作品」人民文学1958.9「‘除夕’討論和蕭平的創作」
644	熱 处 理	"	曲 波	インテリ青年が仕事を通じて実践と理論の結合の意義を体得。	
645	除 夕	"	蕭 平	経営不振の苦境に立つ合作社社長の公私の生活。	
646	冬 夜	"	于 敏	夫の制止にかまわず夜巡りをする妻の功績。	
647	山郷巨変(2)	"			
648	洋 河 大 渠	特	特 写	洋河大渠の建設に積極的に参加する娘たち。	人民文学1958.4「読‘洋河大渠’想到赶任務」
649	砭 山 医 生	"	阮章競	北辺の砭山に於ける一人の医者 of 体験談。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
650	大 青 山 贊	散	許 淇	現実謳歌，青年の理想，生活の認識。	
651	故 郷 画 冊	"	郭 風	故郷の情景。	
652	冬 日 随 筆 (1958.3)	"	劉北汜	山区開発の援助のための下郷運動の一面。	
653	春雷震動東山口	特	史 超	十三陵ダム工場でのルポルタージュ。	人民文学1958.12 「短篇小説の収獲」 人民文学1959.2 「短篇小説的豊収 和創作上の幾個問 題」1957年短篇小 説選「序言」 文芸報1958.1「老 長工'的階級感情」 文芸報1959.1「略 談短篇小説六篇」 人民文学1958.6 「談最近的短篇小 説」人民文学1958. 11「短篇小説的収 獲」 人民文学1958.6「談 最近的短篇小説」 人民文学1958.6「談 最近的短篇小説」
654	最好的消息	"	劉大為	十三陵ダムの現場で働いている息子のところへ父親が息子のいいなづけをつれてやってくる。	
655	起 点	小	郝斯力汗	ロザック族の村における，脱落分子のこと。	
656	老 長 工	"	束 為	農業合作社における新旧思想の対立，解決。	
657	唐兰的婚姻	"	李南力	現代的な結婚について。	
658	暴風雨之夜	"	管 樺	暴風雨のとき人民と一体となって働く指導者のスケッチ。	
659	黄 鳴 九	"	师田手	インテリが変革に際し，どのように覚醒したかということ。	
660	山乡巨变(3) (1958.4)	"	周立波		
661	两个時代的伤痕	"	艾 燕	一人の労働者の体に刻まれた二つの傷痕，それにより新旧の社会を写し，新社会の勝どきの声をあげる。	
662	春 夜	"	王汶石	広い意味において，合作社内の青年たちのデッサン。	
663	壳 酒 女	"	徐懷中	めざめゆく少数民族（傣族）と正しい指導の成功。	
664	难 忘 的 人	"	馬 烽	抗日・革命戦争中のエピソード。	
665	徐 水 城 下	"	柳 杞	徐水における激戦の思い出。	
666	山乡巨变(4)	"	周立波		
667	一天二十四小時	特	方 紀	天津製紙工場における大躍進。	
668	徐水平原的白天黑夜	"	康 濯	徐水県のダム工事場におけるスケッチ。	
669	清脆的夯声	散	許欽文	下郷に行ったときの感想。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
670	西 安 二 題	散	袁 鷹	西安へ行ったときの感慨を古詩を挿入しながら展開。	人民文学1958.5「不尋常的浪花」
671	在完达山下	"	石 震	新開拓地（北大荒）の状態について。	
672	洞 子 崖 (1958.5)	"	黎少岑	洞子崖へ水を引くための苦労話。	
673	听錯了耳朵	特	柯 藍	ある工場における落伍分子が先進分子に変るいきさつ。	
674	春 潮	"	艾明之	江南造船所における大躍進。	
675	上海的浪花	"	張 英	上海のある工場における大躍進。	
676	在星雲之間	"	白 艾	中国の航空場におけるスケッチ。	
677	珍貴的礼物	"	鄧光中	中・朝・ソ三国国旗章についての話。	
678	孩 子	散	田 家	子供の成長をながめながら自分の望みを話している。	
679	迎 春 曲	小	草 明	ちよっとサボりかけた労働者が、気をひきしめて大躍進に力をふるうこと。	
680	船 厂 追 踪	"	費礼文	躍進する造船所の頌歌。	人民文学1958.10「談『迎春曲』主人公姚恩泰」同「『迎春曲』的感情趣味不够健康」 人民文学1958.12「短篇小説的収獲」 文芸月報1958.10「時代的声音生活的頌歌」
681	張德全和他所講的故事	"	邵子南	国民党軍隊の残酷さを暴露。	
682	怀 念	"	青 林	土地改良時期に結ばれた陳さんと張さん一家とを描写することにより当時の農村の状態を紹介。	
683	一 件 棉 袄	"	許 以	十三陵ダム修築を支援する温い人々の思いやり。	
684	五月的血迹	"	常 尧	“9.18”以後ハルピン共青团地下組織の活躍ぶりと同志の友情。	
685	山乡巨变(5)	"	周立波		
686	典 型 报 告 (1958.6)	"	李德復	山間の合作社における躍進。	
687	風 浪	小	沙 汀	農業合作社の進展と摩擦。	
688	一个温暖的雪夜	"	劉白羽	ある抽水站土地を舞台に、そこに表われた人々の生産に対する積極的な意欲。	
689	夜 訪	"	郭小川	農村における積極的な労働者。	
690	争 吵 以 后	"	"	復員軍人が村に帰ってからのも積極的に生産に従軍する話。	人民文学1958.12「短篇小説的収獲」
691	第一百張大字報	"	"	大字報についてのコント。	
692	歩高师伝所想到的	"	胡万春	謙虚に物事を学ばねばならない、ということとある工場内の事件にからましている。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
693	装 車 記	小	陳残雲	思想的におくれている妻が強制的にではなく、自然にうまく皆の仲間入りを する過程。	人民文学1958.6 「談最近的短篇小説」同1958.12「短篇小説的收穫」延 河1958.12「純朴的 詩篇」 人民文学1958.6 「談最近的短篇小説」人民文学1958. 12「短篇小説的收穫」文芸月報1958. 5「談愿堅兩短篇」 人民文学1959.5 「从情節說起」 人民文学1958.6「談 最近的短篇小説」
694	為 了 鐮 犁	〃	王西彦	休日を返上して労働に意欲をもやす労働者の姿。	
695	波兒和衆兒	〃	吳文華	回想形式により昔のいがい経験を暴露。	
696	喃 娜	〃	劉伝輝	少数民族（僑頗族）のある娘の物語。	
697	百 合 花	〃	茹志鵲	一人の戦争英雄の追悼。	
698	七 根 火 柴	〃	愿 堅	党に忠誠な兵士についての回想。戦争 の思い出話。	
699	進 山	〃	勤 耕	戦場（白兆山）における一件の小事。	
700	山乡巨变(6)	〃	周立波		
701	老孟泰来到了上海	特	靳 以	上海における工業の躍進。	
702	一个高大的人 (1958.7)	〃	趙 寻	ある模範労働者について。	
703	光荣啊！十三陵水庫	〃	鍾 靈	十三陵ダム現場に毛主席らが下放に来たときの感動。	文艺報1958.15「哈哈！英国佬！」文 芸報1959.4「乘风破浪顯英雄」文芸 月報1958.10「談陸 俊超同志的創作」
704	鋼鉄青年突击队	〃	郭小川	十三陵ダム建設に参加している積極的な青年たちのグループについて。	
705	“劳动号”油輪	〃	陸俊超	中国船が積荷量、航海距離などで英国船を追いつく話。	
706	記李始美	〃	龙国炳	白蟻を撲滅退治するまでの苦労話。	
707	科学行列里的新人	〃	車少俞	百姓が歴史の常識を破って科学隊列の中に入った一つの革命風景。	
708	地下水道的事	〃	楊 敏	灌漑用の地下水を完成して大躍進の目標額を突破しようとする話。	
709	能	〃	李叔华	片手をうしなった傷夷軍人が努力して楽器演奏ができるようになるまでのいきさつ。	
710	赶 天 橋	〃	林斤瀾	ある百貨店員が人気のある天橋百貨店の営業方針を学ぶ。	
711	過 客	小	李 納	洪水対策地で働く人々のスケッチ。	
712	井 台 上	〃	管 樺	79才と83才の老人の仕事に対する意気込み。	
713	壳 垂 茶的	〃	〃	ある村における民事裁判風景。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
714	上 海 人	小	福 庚	後進の友達を先進させようと努力する老労働者の友情。	
715	会 前	〃	張漢青	研究に研究を重ね常に前進しようとする労働者の姿。	
716	桃汛的消息	散	雷 加	三門峽の水利建設事業の現状。	
717	插秧時節	〃	陶 萍	沱城の密植・水利・植松などの紹介。	
718	北京—莫斯科	〃	楊 苒	11才の少女がモスコに到着するまでの汽車旅行記。	
719	小 旅 館 (1958.8)	〃	林 遐	ある小旅館で発見した人々の躍進に対する意欲。	
720	踩 電 鈴	〃	万国儒	一人の労働者が積極的に労働するようになる過程。	人民文学1958.10「朴素明朗の形象」
721	孫 家 父 女	〃	李雲德	大躍進を支えるための鉄綱を作るのに全国的に土炉を築いた。その一つの物語。	人民文学1958.8「談三個工人的作品」
722	調 令	〃	朱建章	高炉を修築に行く積極的な労働者の姿。	
723	老工人的心	〃	孫桂橋 馬建群 赵学勤	停年退職になっても、まだまだ生産労働に意気をもやす老労働者。	
724	“地進”号的誕生	〃	寶功亜	敢做によりおどろくべき短時間のうちに船を作った話。	
725	凌 紅 蝶	〃	段荃法	農村における一件の小事。	人民文学1958.8「読‘凌紅蝶’」
726	不！我要二十七副	〃	丘化順	工場の積極的な労働者のスケッチ。	
727	挖 塘	〃	馮金堂	貯水池を作るのをめぐる摩擦。	人民文学1958.8「談‘挖塘’」
728	王家的故事	〃	裴文輝 暢淑花	現在の農村家庭における家庭生活と団体生活との調和。	人民文学1958.10「反对可恥抄襲行為」
729	鹿特丹港奇遇	散	陸俊超	オランダ、ロッテルダム港での一労働者と中国船員の交歓。	文芸報1959.4「乘風波浪顯英雄」
730	石 鳳 霞	特	宋繼全他	女事務員の任務遂行への努力と任務に対する愛情。	人民文学1958.12「短篇小説的收穫」
731	郭平青年突擊隊	〃	李岩成	青年隊長の職場への愛情と新建設への意義。	文芸報1959.1「略談短篇小説六篇」
732	老丘給了我們力量	散	劉先余 張炳榮	自分の火傷をもかまわず工場の成績向上に努力する工員。	文芸報1959.7「一篇歪曲現實的小説」
733	一場挽救生命的錢斗 (1958.9)	特	巴 金	ある工員の負傷と任務に対する責任感。	1959.7「喜説鍛煉鍛煉」文芸報1959.7「説小説‘鍛煉鍛煉’」
734	“鍛煉鍛煉”	小	趙樹理	ある農業合作社の整風運動の展開。	1959.9「略談鍛煉鍛煉的典型性問題」

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
735	洗 兵 馬(1)	小	楊 朔	朝鮮戦争における回想。	
736	愛提意見的姑娘	〃	丁 玫	いろいろと改良意見を提出する労働者の話。	
737	夜走駱駝岭	〃	李 准	食糧供出の状態をユーモラスに描写。	
738	磨 刀	〃	蕭 玉	山林労働者の一件小事。	
739	講 解	〃	楊 暢	紡績工場における躍進ぶり。	
740	爸 爸 的 血	〃	黄慶雲	アメリカの富貴の中の貧困を暴露。	
741	“英 雄 營”	特	劉大為	合作社で養豚することを決定し、その施設を作るまでのいきさつ。	
742	噴気式無梭織布機	〃	克 新	上海の棉工場で梭を用いない織布機械を作った話。	
743	富裕中農現場參觀記	報	李懷珍	富裕中農が保守性を脱皮したいきさつ。	
744	和白廟村的詩人們在一起	散	葛 琴	全村の半分近くの人が詩を作るという白廟村のこと。	
745	在日里農園中	〃	耶 戈	インドネシアの苦しい現状をのべ西欧諸国を攻撃し、中国とインドネシアの友好をたゞえる。	
746	阿尔美尼亚散記 (1958.10)	〃	周洁夫	アルメニアの紀行文。	
747	北京在怒吼	特	崔道怡	9月6日の台湾問題に対するダレス発言及びそれに応えた周恩来声明についての北京の人民の怒りと決意。	
748	厦門一战斗的城市	〃	邵一海	厦門前線と厦門生産活動にみられる人民のエネルギー。	
749	鋼鐵元師団	〃	刘大为	大躍進をする徐水県の製鋼のありさまにおどろき、さらに前進する技術労働者の姿。	
750	鋼 和 糧 食	〃	徐 遲	徐水における人民公社運動を中心とする全国躍進の姿。	
751	游龍山脚紅旗飄	〃	許 以	人民公社の現状とその成立にみせた人々の努力。	
752	韶 山 脚 下	〃	柯 藍	韶山の美しい景色、それは共產主義社会をめざし人民公社を建設している人民の姿でもある。	
753	千里長空送器材	〃	馬国昌	武漢製鋼所において表われた大躍進についての人々の一体感。	
754	三天跨過二百年	〃	海 喆	世界で最初の機械を作った労働者のよろこび。	
755	董 工 長	〃	李 文	掃盲学校で文字を覚えてきた董工長が、生産記録運動に一そうの熱意を示す。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
756	家 庭 会	特	趙煥然	石炭の質をめぐる二つの製鋼炉争いが家庭会で解決された。	
757	新安江交响曲	〃	福 庚	新安江のダム建設の意気込み。	
758	甘 肅 一 月	〃	馬鉄丁	蘭州を中心に甘肅各地の躍進ぶり見学。	
759	夜 戦	〃	陸 英	旱魃防止にはりきる人々の像。	
760	阿媽妮, 別攢火車	〃	韓希梁	朝鮮戦争における中朝両民族の友情。	
761	長空の主人	〃	李珪白	回想的に中国空車の技術進歩を描写。	
762	金色的長江	〃	齊 克	長江三峡のダム工事とその完成の未来像。	
763	瓦林卡河在歌唱	〃	杜 埃	チェコスロヴァキア自動車工場参観と中・チェコ友好交歓。	
764	洗兵馬 (2)	小	楊 朔		
765	二十四小時之内	散	苗 子	機械農具の運転練習中に働くことのよろこびと尊さを見い出す。	
766	下乡后の一点体会	〃	蔣牧良	作家は生き生きとした労働者の生活の中に入って創作の基盤を作るべきだ。	
767	人定勝天 (1958. 11)	〃	老 舍	自然を克服し, 合理精神を獲得した人民の姿。	
768	夜 談	小	沙 汀	旱魃対策に社幹部が夜を徹して考案する。	
769	山那面人家	〃	周立波	少数民族の結婚式と新しい夫婦像。	人民文学1959. 7「風格一例」
770	天門取経記	〃	韓文洲	おどろくほどのスピードで躍進する農村を感激的に描写。	人民文学1958. 11「談天門取経記」人民文学1959. 1「也談天門取経記」
771	村 医	〃	王汶石	流行性感冒が蔓延したとき献身的に働いた村医の話。	
772	協 作	〃	王安友	生産競争を通じて人々は一体感をつよめる。	人民文学1959. 2「短篇小説の豊収和創作上の幾個問題」
773	鴨	〃	刘 勇	よくばりの百姓ばあさんの失敗暴露。	
774	夜	〃	何 飛	大躍進の波に乗って活躍する合作社員たち。	
775	小紅和阿藍	〃	靳 以	紡織工場において消極的になりそうな小紅が阿藍たちの助けにより意識を高める。	
776	雨	〃	艾明之	造船所における老労働者の目を通じての躍進礼賛。	人民文学1958. 12「短篇小説の収獲」
777	一台噴砂機	〃	陳冠華	躍進を支える責任感ある労働者。	
778	唐 科 長	〃	黄宋林	躍進を支えるのは機械力並びに大衆の	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
779	不能推卸的責任	小	牛鳳和	力だ。この力があってこそ困難を克服できるのである。 躍進をおし進めるのは上部ではなく下部というか一般のあふれるようなエネルギーである。	人民文学 1959.5 「從情竄說起」文 芸報 1958.22「崇 高的主題，光輝的 形象」人民文学19 59.2「短篇小說的 豐收和創作上的幾 個問題」人民文学 1958.12「短篇小 說的收穫」人民文 学1958.11「普通勞 動者是一篇很好的 小說」
780	十八盤山暴風雪	〃	碧 野	カザック自治州において，苦勞しながらも任務を遂行する話。	
781	搶 救	〃	馮德英	沈着な行動をする軍人礼賛並びに国家の財の重要さをたゞえる。	
782	送 信	〃	林斤瀾	手紙の転送につれて生産躍進を紹介。	
783	没有枝葉的花 朵	〃	王 松	社会主義へ移行しつつある拉祜族の紹介。	
784	灵 泉 洞	〃	趙樹理	戦争中の故事を書いた評書的一部分。	人民文学 1958.11 「小技術員战服神 仙手」読后 人民文学 1959.2 「短篇小說的豐收 和創作上的幾個問 題」人民文学1958. 12「短篇小說的收 獲」 文艺報1958.22「有 共產主義風格的婦 女形象」同々「新 結識的夥伴人物刻 画的特点」同1959. 1「略談短篇小說 六篇」延河1958.11 「共產主義的新人」 文艺月報1959.3 「王汶石三個短篇 中的婦女形象」
785	普通労働者	〃	王愿堅	十三陵ダム現場のスケッチ。	
786	小技術員战服 神仙手	〃	範乃伸	敢傲の勝利並びに農村の大躍進。	
787	胡琴的風波 (1958.12)	〃	徐銀齋	劇団を組織し成長させるまでの苦勞。	
788	新結識的伙伴	〃	王汶石	生産躍進の中で知りあった同志の友情。	
789	大紅旗和小黑 旗的故事	〃	孫 謙	農業生産においては競争は単なる競争でなく全体のための競争である。	人民文学 1959.2 「短篇小說的豐收 和創作上的幾個問 題」人民文学1958. 12「短篇小說的收 獲」 文艺報1958.22「有 共產主義風格的婦 女形象」同々「新 結識的夥伴人物刻 画的特点」同1959. 1「略談短篇小說 六篇」延河1958.11 「共產主義的新人」 文艺月報1959.3 「王汶石三個短篇 中的婦女形象」
790	預分以后	〃	林 藍	封建的な男尊主義の家庭がだんだん改良される過程。	
791	三 不 吹	〃	綦水源	道路修築場における模範労働者のスケッチ。	
792	革 命 伏	〃	海 默	解放戦争のおもいで。	
793	煉鉄廠里一位 老英雄	〃	馮金堂	大躍進を支える，湧きあがるような人民の力。	
794	在大餅油条店 里	〃	鳳 章	大躍進に少しでも貢献しようと菓子作りの合間に手製炉で製鉄する話。	人民文学 1959.2 「短篇小說的豐收 和創作上的幾個問 題」人民文学1958. 12「短篇小說的收 獲」 文艺報1958.22「有 共產主義風格的婦 女形象」同々「新 結識的夥伴人物刻 画的特点」同1959. 1「略談短篇小說 六篇」延河1958.11 「共產主義的新人」 文艺月報1959.3 「王汶石三個短篇 中的婦女形象」
795	一 封 電 報	〃	許 以	革命事業に対する人々の支持。	
796	新工人的母親 (1959.1)	〃	蘇小星	辺地において大躍進をささえている人物描写。	
797	姉 妹 船	小	陆俊超	中国海運界における躍進運動を二つの船の船長・乗組員の新・旧意識の対立を通じて描く。	
					「人民文学」(59年3月):宋建元・談 《姊妹船》の几个人物

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
798	卢 仙 兰	小	王汶石	夫にかわって村の党支部書記になった妻の卢仙兰のすぐれた指導とその新しい夫婦愛。	原載《蜜蜂》1958年11月号 「編者按」：本文曾分別在福建日报，厦門日报发表过，此次发表曾經作者做了刪節和修改
799	高炉边的彝家	〃	〔彝族〕熊正国	彝族の青年の製鉄工場での活躍とその恋愛を楽しく描く。	
800	带哨兒的鸽子	〃	福 庚	発電所建設作業における女子先進工作者李香蓮の目ざましい働きぶり。	
801	两个普通的战友	〃	肖 英	嵐で決潰した堤防の修理をめぐってノッポとチビの二人の戦友がお互の英雄的な行動を通して本当の友情をさぐりあてる。	
802	一盞抗旱灯下	〃	申跃中	旱魃戦争にあらわれた人民の労働意欲。	
803	生活故事「在理发店里」	故事	許秉賢	散髪屋の徒弟が労働者にはげまされ3ヶ月で技術を身につけて生産躍進に参加している話。	
804	「我家的自留地」		李 青	公社へ入れることになった自留地にわざわざ肥料をまく農民の心情を語る。	
805	「一根鉄筋的故事」		吳 克	旧社会で父親が日本軍から身をまもった鉄の棒が今は生産に利用される。	
806	偉大的列宁永生	散	周而复	レーニンの故居と陵墓を訪れた作者のメモランダム。	
807	北大荒踏荒記	〃	鐘 濤	北部中国にある人跡未到の荒地を開墾するための実地踏査のレポート。	
808	多峇湖夜話苏門答腊之旅之二	〃	耶 戈	インドネシアのスマトラ島 湖へ旅行した作者が哀婉な伝説と共に語るルポルタージュ。	
809	陣 地 杂 感	〃	陳笑雨	馬祖列島にむかいあう福州前線の琅岐島からのルポルタージュ。	
810	焰山中葡萄沟 (1959.2)	〃	权寬浮	新疆省・吐魯蕃の葡萄人民公社參觀記。	
811	踏着晨光前进的人們	小	刘白羽	大暴風雨から松花江の堤防を守るため決死の努力をする人物。	
812	沈 煥 江			一先進的労働者の体験した生活の波瀾。	
813	生活的波瀾			山火事の消火のために懸命の努力をする人々。	
814	在烈火的前面			突然の台風の襲来に、海辺の村民の救出に活躍する人々。	
815	风 雨 黎 明			突然の台風の襲来に、海辺の村民の救出に活躍する人々。	
816	吃飯不要錢的日子	小	康 濯	人民公社化運動を發展させて、吃飯不要錢的日子になる迄。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
817	争 分 秒	小	趙焕然	製鉄所に於る時間を争う技術革新の競争。	
818	老工人汉斯	〃	刘祺宝	友邦中国の大躍進を支援する東独の労働者。	
819	三 套 鑼 鼓	〃	徐光夫	煉鋼廠に於る労働間の協力による生産の躍進。	
820	下連当兵日記	日記	肖全夫	人民解放軍少将である肖全夫が下放して一兵卒として服務したときの日記。	(原載《江城》1958年11,12月合刊号)
821	夜 漁 記	特写	郑文光	台風襲来の予報の下に出漁する漁船同乗記。	
822	冰峰五姑娘	〃	綦水源	烏庫公路建設の難工事に活躍する五人の姑娘。	(原載「文学青年」1958年11月号)
823	向宇宙进運的 冲锋号响了	散	高士其	ソヴィエトの宇宙旅ロケットの発射成功をたたえて。	
824	在捷克和西德 边境	〃	杜 埃	チェコスロバキアの対西独国境防衛軍訪問記。	
825	五祖的故事	〃	耶 戈	“猪仔”の人権獲得のために立上った5人の先覚者物語。	
826	义和团的故事	民間 伝説	張士杰		
827	托塔李天王			一村落に於る義和団の建立一斗争一失敗の過程。	(原載「民間文学」1958年4月号)
828	刘 黑 塔			一農民の財主に対する反乱から義和団に入る迄の斗争の経過。	(原載「民間文学」1958年11月号)
829	义和团战落堡 (1959.3)			落堡に於る義和団と農民の羊毛子官兵に対する斗い。	(原載「民間文学」1958年11月号)
830	女 店 員	戯曲	老 舍	中国に於る婦人の商業戦線での斗争。	
831	曠 野 上	小	管 桦	八路軍に身を置く人が敵地を偵察している時の有様。	
832	雪 英 学 炊	〃	段荃法	“公共食堂”問題に対する新婚夫婦間の意見の違い。	
833	哈 伊 娜	〃	綦水源	天山峡口地方に於けるカザック民族の風習、性格。	
834	草 原 日 出	〃	張長弓 沙里夫	夢に見た土地で一女医が肺炎の子供を助ける迄の過程。	
835	政 治 教 師	〃	师 陀	年老いた労働者の紡織工場での活躍ぶり。	
836	責 任	〃	胡 奇	金門島との砲撃戦線で二人の婦人が一役買う話。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
	(1959.4)				
837	艰难的岁月	回忆录	楊尚奎	贛粵辺に於ける革命戦争の第二の時期の思い出。	「人民文学」(59年4月号):梁长树・《邓洪同志是怎样写革命回忆录的》
838	在大革命失败的时候	〃	邓 洪	1927年の大革命失敗の頃、瀏陽県五十四郷の農民協会长許克祥の経験談。	
839	山 鷹	小	峻 青	盲目の若者について、彼の父の親友だった老人が語る。共産党員の活き方。	
840	洋土結合	〃	柯 藍	人民公社の副業部門で孫の“洋”式知識と祖父の“土”式知識との結合の話。	
841	埃苏拜耳的枪声	〃	浦映政	第二次大戦中英商人に雇われた中国人、インド人、イラク人労働者の連帯“天下窮人是一家”	
842	两个小青年	〃	魏金枝	県幹部大会でささやかな善行を表彰。	
843	种 花 人	〃	苏小星	人民公社で幼稚園で主任の苗族のばあさんが可愛い子供たちにかこまれて幸福に話している。	
844	紅 姑 娘	〃	馮金堂	人民公社で“放作物衛星”運動の中で四人の小娘らが棉を作る。	
845	停 止 办 公	〃	馬 烽	県党書記が寝る間もなく疲れきってるのに霜害防止の為休みもせずに働く話。	
846	房 東	戦士創作	李克英	解放軍の兵士が農村のある家に宿を借りた時の話。	
847	营 長	〃	王鳳梧	幹部と兵士の間のへだたりをなくす為大隊長が炊事兵となった話。	
848	紅色“15”号	〃	胡進生	土はこびで力くらべする話。	
849	打 柴 記	報告文学	陳青山	農業合作社できたての頃、柴かりに行って反動分子らの破壊工作と闘う話。	
850	王开福和牛	〃	李茂荣	公社の牛の番人をしている王開福の人民の財産一牛一に対する愛顧の念。	
851	拉薩兩姊妹	〃	郭超人	チベット開発の先端に行く水力発電所で働く二人姉妹。	
852	一 支 烟	〃	胡海定	解放前の奴れいの様にタバコ一本もすわしてもらえない労働者が悪劣な資本家をわなにかけてうさをはらす。	
	(1959.5)				
853	向 秀 丽	報告文学	房樹民 黄際昌	自己の生命を犠牲にして工場の爆破を防いだ女性。	
854	一篇不完整的报道	小	也 辛	工場で負傷者も出した一事件より、些細な事でも気のつく事をノートしておく書記。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
855	在 大 学 里	小	許以道 怡	農村出の女学生が一心に勉強し紅専と認めらる。	{ 斯琴高娃訳一原文 発表在1959年2月 8日内蒙古日报蒙 文版
856	为 了 新 春	"	敖德斯 尔	正月にも患者の為に外向く尊い蒙古族女医の存在。	
857	雅魯藏布江畔 的夜火	"	郭超人 刘汉君	共産党に楯つく地主を虐けられて来た娘が仲間と倒す。	
858	回到生产崗位	"	黄宗林	副主任を自ら退き只の工具に自らかえた一女性の工具としての涙ぐましい努力。	
859	「百事管」看煤	"	万国儒	炉にくべる石炭が不足、皆が寒さにかまわず寄付する話。	(原載「北方文学」 1959年4月号)
860	並 蒂 花	"	王忠瑜	最後まで立派な態度であった沈着な女落下傘兵。	
861	「藏族民間故 事」盐茶的故事		洛桑志瑪 吳行之	妨げられた二人の愛が塩と菜となって結びつく物語。	(康定县貢布、講述、 康定县 陳青云口訳)
862	木且苦苦的故事			彼が如何なるさるちえで悪賢い地主を退治したか。	
863	只要一口袋			利口な阿克登巴と意地悪い地主とのちえ比べ。	(康定县洛桑志瑪吳 行之等 講訳)
864	巨 人		扎西	慢心した巨人がもっと強い巨人に挑戦して逃げ帰る話。	(康定县 札西講訳)
865	靴子哪儿去？ (1959.6)			はだしの若者の世辞に有頂点になっているうちに、くつはどこへ行ったのだろう。	(")
866	我的第一个上 級	小	馬 烽	省の水利学校を卒業した青年が現場でみた指導者の身体具合が悪いにもかかわらず身をすてての活躍ぶり。	原載「辺 疆 文 芸」 1959. 4
867	北 京 来 客	"	周立波	遠く北京から来た客を中心に公共食堂のことなどを話しあう。	
868	两面紅旗迎风 飄	"	刘 勇	ダム建設工事で競いあう二つの部隊の技術の交換による建設の躍進と団結。	
869	求 婚	"	楊 苏	人民公社の社長が社員の為の結婚話を成立させる。	
870	寄自两个鄂倫 春人的身旁	"	丁仁堂	少数民族オロチョンの生活を、以前軍の病院に入院していたものが看護婦に書き送ったもの。	
871	耳報大隊長	"	楊 花	聞いたことがらをすぐ人に話したがる子供のことを書いたもの。	
872	孩子們の礼物	"	許 純	六年生の子供たちが恩師に自分たちで作った各自のことを書いた記念文集を贈ることを書いたもの。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
873	流浪児索郎	報告文学	郭超人	両親と別れ流浪の生活を送っていたチベットの子供が解放軍に助けられ希望に満ちた学校生活を送る。	楊潤身・房育民整理 原載「新港」1959.4
874	土河浪花翻	〃	毛子江	土河村では合作社に入りたがらない中・富農が別個に合作社を作るが、貧農たちの組織する合作社に生産競争に敗れてはじめて間違いをさと、両社合併して高級合作社に成長する過程をえがく。	
875	敬老院内的欢笑	〃	揭祥麟	上游公社紅星大隊の敬老院設立の過程を一人の老人を通して書いたもの。	原載「紅岩」1959.5
876	自由迟早必将到来	散	周而复	ブラジル人民のポルトガル帝国主義に対する斗争の歴史を語る。	
877	两个突击隊長	〃	塞先艾	苗族侗族の旧州人民公社の青年で組織されている青年突撃隊の男女二人の隊長の活躍ぶりをえがいたもの。	
878	鋼鉄大街 (1959.7)	〃	許 淇	元は寂しかったが今は盛んになって鉄鋼の町の話。	
879	严峻而光輝的里程	小	杜朋程	賀俊という若者がいろいろの困難と斗いつつ成長してゆく過程。	(原載「火花」1959年5月号)
884	老 社 員	〃	馬 烽	頑固な老社員が色々頑固な所をみせるが自己の責任は確実に果たす。	
881	哥 哥	〃	王家大	とても大切に育てた馬は立派に仕事をやりぬくが最後に病氣となり、兄が自分の事も忘れて看病する。	(原載「文芸月報」1959年6月号本刊転載时略作刪改)
882	特殊性格的人	〃	胡万春	王剛が軌道を修理し転轎車間を見事に運ぶ。	
883	澄 河 边 上	〃	茹志鵬	周玉兆が傷病兵の小隊をつれ後から敵に追われつつ老人の助けで澄河を渡る。	
884	巴 莎	〃	刘 克	巡廻医療隊が迷信と斗いつつ無智な農村に活躍する。	
885	乡 村 医 生	報告文学	李叔华	趙松林という軍人が負傷するが多くの困難と斗って医者として社会に尽す。	(原載「草原」1959年4月号)
886	前 輩	〃	崔道怡	半身の動かぬ老人が黙々と働き社会に尽す。	
887	沸騰的山谷	散	安柯欽夫	深い森の中で炭を焼く人達の生活と周りの風景。	(原載「長春」1959年6月号)
888	在 森 林 里	〃	王宗昌	小楊等六人の小隊が大金溝で大隊と会う為森林の中を進むが会えず森林で一夜を明かす。	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
889	鴨 客	散	火 伏	あひるの群をつれている“鴨客”と呼ばれる人々の解放前の生活と解放後の生活をえがく。	
	(1959.8)				
890	九級風暴(上)	小	陸俊超	建国記念日を前にシンガポールに停泊している国民党巨船「凱旋号」を解放区に運び人民のものにしようとする物語。	原載(奔流)1959年5月号本刊略作刪改
891	姑 奶 奶	〃	草 明	武昌へ夫と共に来て電話交換手として働くうちに働く事の喜びに目覚める若い妻の話。	原載(文芸月報)1959年5月号本刊略作刪改
892	表	〃	海 黙	ある人民公社の社長の古い時計によせて自分を語る話。	
893	三月里的春風	〃	李 准	敬老院で老人達をやさしく世話する院長の話。	
894	如 願	〃	茹志鵲	女手一つで子供を育ててきた母親が解放後働きにでて二十数年前買ってやれなかったリンゴを初めて買ってやる。	
895	太阳山上的故事	〃	胡学文	伐木隊に入った一人の少女をめぐり彼女を愛する隊長と意識の低い男の話。	
896	潑 水 节	散	張 長	全て解放された雲南省に住む傣族の喜びを描いたもので「象脚鼓歌」は先祖代々伝わる象脚鼓を一人の老人が苦しかった間たゝかなかったのを公社の出来た祝いにたゝき即興の祝いの歌をうたう。「丟包」男女に別れ球を投げ合う遊びをしている子供達に解放の喜びを感じる。「孔雀舞」飛びきたった一羽の孔雀に公社の様子を誇らしげに話しかける。「潑水」水をかけてその人を讃えるお祭りによせて解放の行蹟をたゝえる。	
897	五月的森林	〃	郭 凤	「安莒下高産林」一閩北の森林にやって来た私が安莒下へ来る途中立派な林業科学研究所や実習に来ているらしい学生達の元気潑らつとした様子を讃えながら安莒下へ来てその杉の木の見事さに感嘆し祖国の発展を祝福する。 「森林簡便鐵路」五月のある週末閩北の簡便鐵道に乗った公社の党書記を中心に伐木場に働く婚約者に会いに行く娘や小学生、労働者達を描き、風景の美しさ、若者達の明るさ、この辺一帯を福建第一の林業都市にしようという	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
910	下放的一夜	小	周立波	って農村に起る問題を描いた作品。 八月のある夜、党幹部の王鳳林がムカデにさされる。手当たり次第に薬を用いて痛みをとめようとする女子幹部の張玉蘭、原始的な手あて法で適面に痛みをとめる75才の老婆、ムカデにまつわる昔話などユーモラスに描かれる。	(作者蒙古族)
911	回 国 以 前	〃	謝冰心	少女時代を両親と共に日本で過した一少女が革命後の新しい中国に帰って来るまでの回想の物語。	
912	路	〃	瑪拉沁夫	貧しい蒙古の女、塔爾娃はパオの前を通る公路にこの上ない愛着を持っている。昔は荒原だった所に次第に道が出来、今日の公路となった。それと共に彼女の運命も移り変っていった。	
913	丹 崖 白 雪	〃	峻 青	一人の新聞記者が萊陽梨の産地に萊陽梨の専門家馮光中を訪ねる。彼は戦争で手脚が不自由な身となったが、情熱の全てを萊陽梨の育成にそそいでいる	
914	兩 代 人	〃	李 淮	文溪村管理区的女子主任高秀貞は新しく酒造所の所長に任命された。そこで彼女は今日迄自分の手がけてきた仕事のことを思い返す。今では娘の珠々も立派に彼女の仕事の後継ぎが出来る程になった。	
915	大 事 業	〃	東 为	石西岭管理区の支部書記李増光は自分の管理区があまりにも落伍しており、貧しいために隣の管理区に迷わくのかゝるのを恐れて、合併を断り続けてきた。しかしふとした機会に隣の管理区の助けを借りることになり、二つの管理区の人々の心は全くひとつであることを知った。	
916	春 暖 時 節	〃	茹志鵲	静蘭はおとなしい、極めて家庭的な女である。解放後生活は安定したけれども工作第一の夫の態度が理解出来ずに秘かに悩んだり、貧しさゆえにお互にいたわり合った昔の生活をなつかしんだりしている。しかし、そんな静蘭もふとした機会に自主的に生産に参加したことから、生産に対する希望を見出ししていく。	
917	新世界的歌	散	刘白羽	第一次五ヶ年計画以来、新しい世界を作ろうと働く人々、恵まれた国土への愛着、新しい世界への希望が描かれて	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
898	辺 疆 散 曲 「鐘声」	散	毛正三	遠大な希望などが喜びにあふれる文章で描かれている。 辺疆の山にある小学校の鐘の音にかりて一人この小学校で子供を育成する女教師を社会主義の礎とたゝえる。	
899	「路」		周民震	中国とヴェトナムの境に走る鉄路に立って革命でつながれた両国の友好、更には十億人民の共産国家を祝福する。	
900	「一棵紅棉」		霍 新	中国とヴェトナムの国境にある一本の綿の木が革命の戦いの時この木の下で両国がお互いにはげまし合ったので永遠に両国友宜の証であると辺疆兵士が語る。	
901	高山冰川随箋 (1959.9)	〃	肖 群	「銀色游龙」「水源之多」「造福人間」三篇共高山の氷川を描きその雄大でしかもどう猛であるが今では共産党のおかげで田畑をうるおし、人民のために多大の利益をもたらしている事を描く。	
902	同是門前一条河	小	刘樹徳	ダム工事にまつわって老婆の自分の故家に対する追憶と新しく移った村の建設。	
903	我这个人啊	〃	韓北屏	父母を党員にもつ息子が幼い頃識り合った解放軍兵士にめぐり合い、遅れた意識を改める。	
904	古堡上的烽烟	〃	刘 克	チベットの反乱期を背景に、幸福を求めて逃げ出した奴隸の女が解放軍と近づき、本当の幸福を見つけ出す。	
905	留在远方的 “母隸”	〃	安 楓	幼い頃彝族にさらわれ奴隸となった男が肉親や党員にさがしあてられるまでの過程。	
906	九級风暴(下)	中篇 小説	陆俊超		
907	在塔里木盆地	散	碧 野	タリム盆地の風物とそこにくりひろげられる新しい建設の息吹きのスケッチ。	
908	藏北輕騎兵 (1959.10)	報告 文学	田 武	1951年頃新疆省からチベットまでのルート発見のため偵察隊の厳しい自然条件との闘いとその成功。	(原載「天山」1959年 6月号本刊会作删节)
909	老 定 額	小	趙树理	ノルマにこりすぎる星火大隊、隊長の林忠を中心に、このノルマ制度をめぐ	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
930	桂梅和小惠	小	馮金堂	子の優秀さを認めて喜んで同意する。 役に立たない女といわれていた小恵が、彼女を入れてくれた組長にこたえて自分の作った綿花が国慶節に出るまでになる。	
931	明 淨 的 水	〃	李 納	妻としての竹馬は親子三人の家庭生活に充分幸福を感じていたが、干害対策の灌漑工事に積極的に協力することによって更に新しい喜びを身をもって感じる。	
932	跟着老馬転	散	靳 以	北京のある紡績工場で唯一人の安全技術員である馬口金が、老令にかゝわらず工場の主的存在として元気に働き続けるのを讃嘆して人々は老馬と呼んで尊敬する。	
933	夜 行 瑣 記	〃	葛 琴	皖南事变後地下組織の手入を逃れて脱出する人々を描く。	
934	龙 潭	〃	林斤瀾	ある夏の日の朝北京の東南にある竜潭湖のほとりでとりかごを持った老人、魚釣りの男二人、画をかく少女、羊かいの青年等があつまって竜潭湖にまつわる過去を語り合う。	
	(1959.12)				
935	欧 么 爸	小	沙 汀	頑固ではあるが非常に仕事熱心な欧麼爸。	
936	太阳剛剛出山	〃	馬 烽	馬烽とその弟が全村のため灌漑用水の問題を解決する。	
937	李 大 娘	〃	履 冰	人民公社成立利己的な後れた思想の人と公社、国家の為を思う進歩的な人とのいざこざ。	
938	中 秋	〃	葛 洛	1958年の国慶節の北京の夕方。	
939	愛	〃	李光偉 賢久張	楊製鋼技師の自分の工場に対する愛着と国家利益の為他の工場に応援せねばならぬ矛盾。	(原載「文芸紅旗」 1959年11月号)
940	紅色的南江	散	馮振虐	“難江”と呼ばれる旧社会から“南江”と呼ばれるようになった南江の変遷。	
941	在最幸福的日子里	日記	黄声孝	建国十周年観礼大会に参加した感想。	
942	炼鋼炉旁二十年	工歴 史	刘广禄 (口述) 申跃增 (整理)	製鋼の増産の為製鋼炉改善の苦心。	(原載「長江文芸」 1959年9月)

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
918	我們的力量所在	散	魏 巍	いる。 はじめて五星紅旗が天安門の空にひるがえった日から丁度10年が過ぎた。その間に人々の英雄的な働きが一步一步平和な国を築きあげてきた。	(作者蒙古族)
919	陳 効 法 —解放后教育 我的第一个工人—	〃	艾 蕪	作者が「収获」に発表した小説「百煉成鋼」のモデルである陳効法について、その人となり、熟練ぶり、英雄的な働きの数々等思い出が語られる。	
920	海 市	〃	楊 朔	子供の頃蜃気楼でみた漁村にそっくりな島をたずねる。それは幻想的な蜃気楼の中の漁村よりも、もっと素晴らしい幸福の島であった。	
921	厦 門 抒 情	〃	郭 风	中国南端の港町厦門の自然の美しさ及びそこに進行する近代建築等をたゞえている。	
922	叶荷塔拉草原散記	〃	烏兰巴干	叶荷塔拉草原に今は定住して牧畜を営む蒙古人を訪ね、素晴しく蒙古ずもうの強い少女やその祖父さんに会う話。	
923	英 雄 史 詩 (1959. 11)	〃	和谷岩	中国人民革命軍事博物館に陳列されているさまざまな品物にまつわる話が語られる。	
924	早 起	小	周立波	初級合作社から高級合作社への移り変わりの中で移り変り行く農民の姿を描く。	
925	解放前夕一水鎮	〃	李劫人	内戦後期の混乱とそれに続く解放の中で悪徳な人間の没落を描く。	(原載「装眉」1959年10月号)
926	肉 都 帕 衣	〃	祖农哈迪尔	少数民族のウイグル族に伝わる吸血の悪魔に関する伝説、その悪魔がしたと同じように人が人を喰う時代の終った事を喜ぶ。	(原載「天山」1959年10月号)
927	严重的时刻	〃	王汶石	雹害に苦しむ農村管理区に、中央からきた党幹部を中心に農民達の間には害と戦おうとする意気の高まるのを描いた。	(原載「延河」1959年10月号)
928	公社的秧苗	〃	康 濯	大躍進の中にある人民公社で一人の優秀なさつまいもの苗作りの技術員が活躍する話。	
929	小柯記大鬧千斤灘	〃	柯 藍	千斤灘生産大隊の支部書記が親から息子を隊長にすすめられ難色を示すが息	

番号	題 名	種類	作 者	提 要	備 考
943	流 亡	回想録	邓 洪 (口述) 胡 曠 (整理)	革命戦争回想録。	
944	英 姫		李容久 (口述) 玄龙順 (整理)	日本の侵略者に対する頑強な共産党員の地下活動。	(原載「長春」1959年11月号)
945	哭 斬 以		巴 金	斬以の死を悼んで。	
946	哭 斬 以		冰 心	”	
947	哭 斬 以		沈从文	”	

あ と が き

わたくしたちは、過去二年ないしは一年の間雑誌「人民文学」を読んできました。中国の新らしい文学というもの、あるいはその動きというものを、どのようにうけとめたらいいのか、それはいまのわたしたちには重すぎる課題です。わたくしたちにできること、そしていまやらなければならない事は、文学論争の現象面だけを個別的に解釈するのではなく、そうした動きもふくめた中国文学の動向を具体的に作品を読むことを通して明きらかにすることだと思えます。

夏休み返上で各人分担して読みあげた四年間の人民文学の作品(小説、教文、特写)は、相浦先生の1950年～53年の一覧表のあとをひきついで1958年までを対象としています。

読んでゆく過程でいろんな収穫がありました。中国語を読む、あるいは中国文学を読むということの練習はいうまでもなく、中国文学の問題点、具体的問題作等も知ることができました。卒論及び卒業後の研究に大きなメドとなり、別ないいかたをすれば、大学生生活の意義深いしめくりとなりました。

諸先生の御指導御援助を深く感謝します。

この小研究に参加した学生は以下7名です。

上田純平・釜屋修・川上忠徳・武本真行・平岡豊・牧田英二・山本勝曠

1959年度分の一覧表作成にあたった学生は以下12名です。

五明真沙子、喜多村昭男、木村淑子、岸本弘、河野竜夫、森田孝治、森本勝豊、辻野善昭、内田浩、渡辺惇、山下功、横山市郎